

マイナビ 2021年卒 入社半年後調査

～ コロナ禍の就活生の「その後」は？ + withコロナ2年目の新入社員の実態 ～

- 調査期間： 2021年10月25日(月)～2021年11月1日(月) ※前年(20年卒)：2020年10月12日(月)～2020年10月18日(日)
※就職活動時のデータの調査期間「マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査」
「6月の活動状況」：2020年6月25日(木)～2020年6月30日(火)
「7月の活動状況」：2020年7月27日(月)～2020年7月31日(金)
「8月の活動状況」：2020年8月25日(火)～2020年8月31日(月)
- 調査対象： 2021年卒業予定として就職活動を行い、その状況をモニター調査で回答した方を対象とした追跡調査
(マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査 6月・7月・8月の活動状況)回答時点で大学4年生及び院2年生だった方)
- 調査方法： WEB上のアンケートフォームより入力
- 有効回答数： 918名
[内訳：文系男子 160名 理系男子 235名 文系女子 261名 理系女子 262名]
[理系内訳：就活時理系学部生 265名 就活時理系院生 232名]

◆集計方法について

全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2021年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は平成30年度学校基本調査(2019年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。
※ウエイトバック集計とはアンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。
※調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならない場合がございます。予めご了承ください。

【CONCEPT】

この調査の主な目的は「就職活動をした人の『その後』の状況」を知ることにある。もともとの発想は「就職活動がうまくいったかどうかは『入社して良かった』と思えたかどうかで決まるのではないか」というものだ。つまり「良い就職活動とはどういうものか」を知るためには「入社後」を調査する必要があると考えたのである。また、調査対象は「就職活動時に新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、さらに新入社員の時期にも影響を受けた人」に該当するため、その具体的な影響についても見ていきたい。

【INDEX】

◆21年卒の就活生のうち就職している割合は92.8% 入社後の「寮(共同生活)」の割合が大幅減

- 1) 今、企業に勤務しているか、もしくは公務員として働いているか
- 2) 現在自宅住まいか、一人暮らしか
- 3) 現在の勤務先の本社所在地の場所
- 4) 現在の勤務地の場所

◆就活時理系院生だった人の勤務先従業員規模で5,000人以上は、前年より減るも4割弱を占める

- 5) 現在の勤務先の従業員規模
- 6) 現在の勤務先の業種

◆勤務先のインターンシップに参加していた割合は前年より増加し約4割 就活時理系院生では45.3%

- 7) 現在の勤務先のインターンシップに参加していたか、何回参加したか
- 8) 現在の勤務先のインターンシップに参加していた割合・前年比
- 9) 現在の勤務先のインターンシップに2回以上参加したか
- 10) 現在の勤務先のインターンシップに何日間参加したか
- 11) 現在の勤務先のインターンシップの満足度
- 12) 現在の勤務先のインターンシップにあてはまるもの(複数回答)

◆就活時入社予定先満足度が最高(5)だった人のうち入社半年後も勤務先満足度が5なのは約半数

- 13) 就活時の入社予定先の満足度と現在の勤務先の総合満足度比較
- 14) 満足度の側面比較・就活時と現在
 - ・労働条件満足度（給与、福利厚生、休日休暇等についてどの程度満足しているか）
 - ・能力を活かせるか（大学、大学院で学んだこと、資格など、能力を活かせそうか）
 - ・社員の印象と帰属感（社員[同僚等]の印象からその企業が自分に合っていると思えるか）
 - ・経営者の印象（社長、役員、経営者の印象について）
 - ・将来のキャリア展望（理想とする将来のキャリアプランを実現できそうか）
 - ・比較検討（インターンシップ、就職活動を通じて、十分な選択肢の中から選べたか）

◆文系のほうが理系より入社後に満足度が下がる人が多い。理系は院生のほうが下がる幅が大きい

- 15) 総合満足度比較・文理別 + 理系学部生院生別

◆現在の勤務先満足度を従業員規模別で見ると、就活時入社予定先の時より差が小さくなっている

- 16) 総合満足度比較・勤務先の従業員規模別

◆勤務先のインターンシップの満足度が最高(5)だった場合、入社後の勤務先満足度はあまり下がらない

- 17) 総合満足度比較・勤務先のインターンシップ参加・不参加
- 18) 総合満足度比較・勤務先のインターンシップ満足度別

◆理系のほうが文系より「勤務先のインターンシップ満足度が最高」の勤務先満足度に対する効果が高い

- 19) 文系・総合満足度比較・勤務先のインターンシップ満足度別
- 20) 理系・総合満足度比較・勤務先のインターンシップ満足度別
- 21) 理系・能力を活かせそうか・勤務先のインターンシップ満足度別

◆勤務先満足度が最高の新入社員は、就活時のインターンシップで「自分に合っていると感じた」人が多い

- 22) 勤務先満足度別・現在の勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）
- 23) 文系・勤務先満足度別・勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）
- 24) 理系・勤務先満足度別・勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）

◆勤務先満足度が低い新入社員は「実際の仕事内容に関する社員の話し」を知っておけばよかったと思う

- 25) 入社して初めて分かった情報で、就職活動時に知っておけばよかったと思うもの（複数回答）
- 26) 文系・勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係（複数回答）
- 27) 理系・勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係（複数回答）

◆勤務先満足度が最高の新入社員は、就活時に「入社を決めた理由になる人」に合った割合が高い

- 28) 就活中に会った現在の勤務先の人で入社を決めた理由のひとつになった人はいたか
- 29) 勤務先総合満足度 × 入社を決めた理由のひとつになった人はいたか
- 30) 文系・勤務先総合満足度 × 入社を決めた理由になった人の立場（複数回答）
- 31) 理系・勤務先総合満足度 × 入社を決めた理由になった人の立場（複数回答）

◆勤務先満足度が最高の新入社員は、勤務先に「将来の目標となる人」がより多くいる傾向がある

- 32) 現在の勤務先に、あなたが将来この人のようにになりたいと思う人はいるか
- 33) 勤務先総合満足度 × 将来この人のようにになりたいと思う人はいるか
- 34) 勤務先総合満足度 × 将来この人のようにになりたいと思う人は何人か・平均

◆勤務先満足度に最も大きな影響があった福利厚生は「在宅勤務・テレワーク・リモートワークの実施」

- 35) 勤務先総合満足度と勤務先において充実していると思う福利厚生の関係（複数回答）
- 36) 文系・勤務先総合満足度 × 充実していると思う福利厚生
- 37) 理系・勤務先総合満足度 × 充実していると思う福利厚生

◆入社してから半年間に在宅勤務日があったのは約6割で、前年より1割強減少

- 38) 入社してからこれまでの間に在宅勤務*の日はあったか *在宅でのオンライン研修を含む
- 39) 在宅勤務だった日数・平均 ※在宅勤務がなかった人を0日として算出

◆勤務先満足度が低い新入社員は、長く働きたいという意欲が就活時よりも下がる傾向がある

- 40) 「人生100年時代」が到来するとされるがあなたは何歳まで働きたいか・平均
- 41) 勤務先総合満足度 × 何歳まで働きたいか・平均
- 42) 勤務先総合満足度 × 「人生100年時代」に向けた今後の働き方として、あなたの考えに近いもの（複数回答）
- 43) <男子> 勤務先総合満足度 × 「人生100年時代」に向けた今後の働き方として、あなたの考えに近いもの（複数回答）
- 44) <女子> 勤務先総合満足度 × 「人生100年時代」に向けた今後の働き方として、あなたの考えに近いもの（複数回答）

◆新入社員研修がオンラインだったのは研修を受けた人の半数強、内定者研修も55.1%がオンラインに

- 45) 内定者研修、新入社員研修は受けたか
- 46) 集合研修だったか、オンライン研修だったか
- 47) 内定者研修の成果の満足度
- 48) 新入社員研修の成果の満足度
- 49) 受けた研修内容（複数回答）

◆あなたの「新入社員生活」（勤務先に入社してから今まで）を漢字一文字で表すと

- 21年卒 BEST10
- 文理男女別ランキング
- <就活時> あなたの「就職活動」を漢字一文字で表すと（2020年8月調査）
- 選んだ漢字とその理由
- 少数回答 ※1票のみの回答で、ユニークなものを抜粋

■□各種調査はWEB上でも順次公開中！□■

マイナビキャリアリサーチLab | 働くの明日を考える <https://career-research.mynavi.jp/>
経営と人材をつなげるビジネスメディア「HUMAN CAPITAL サボネット」 <https://saponet.mynavi.jp/>
就職指導ご担当者のための総合情報サイト マイナビキャリアサポート <http://mcs.mynavi.jp/>

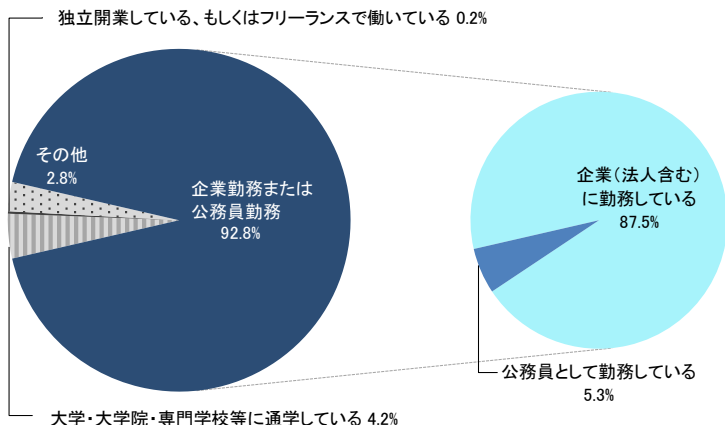
■□本資料について□■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社 マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 TEL:03(6267)4571 / e-mail : myrm@mynavi.jp

TOPICS

◆21年卒の就活生のうち就職している割合は92.8% 入社後の「寮(共同生活)」の割合が大幅減

図1 今、企業に勤務しているか、もしくは公務員として働いているか



今、企業に勤務しているか、公務員として勤務しているか聞いたところ、企業勤務（法人含む）は87.5%（前年比 0.4pt増）、公務員勤務は5.3%（前年比増減なし）で、これらを合わせた就職している割合は92.8%（前年比 0.4pt増）だった。また、21年卒で理系学部生として就職活動をした人では、調査時点で8.3%（前年比 1.2pt減）が「大学・大学院・専門学校等に通学」している（図1）。「現在自宅住まいか、一人暮らしか」を聞いた設問では「アパート、マンション、社宅、社員寮で一人暮らし」が52.3%で、前年（20年卒）より12.3pt増加し、「自宅（両親または保護者と同居）（38.4%、前年比 5.6pt減）」や「寮（共同生活）（5.9%、前年比 6.4pt減）」は減少した。就活時に理系院生だった人では、前年25.5%もいた「寮（共同生活）」が10.8%まで減った（図2）。入社後、研究所や工場勤務で、例年は寮生活となるところを、企業が感染症対策を考えて、個別の社宅や共同部分のない寮に変更したのではと考えられる。また、就職と同時に親元へ帰ることを選択した人も減った可能性が高い。勤務先の本社所在地の分布は大きな変化がなかったが（図3）、勤務地では理系院生だった人が「関東（東京都以外）」で勤務する割合（29.1%、前年比 9.2pt増）が大きく増えた（図4）。

	21年卒					20年卒					増減(21年卒-20年卒)				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
回答数	918	421	497	265	232	893	390	503	264	239					
企業(法人含む)に勤務	87.5%	87.7%	87.1%	81.9%	93.5%	87.1%	86.2%	88.8%	84.5%	93.3%	+0.4%	+1.5%	-1.7%	-2.6%	+0.2%
公務員として勤務	5.3%	6.4%	3.7%	5.7%	2.6%	5.3%	6.4%	3.4%	3.8%	3.3%	±0.0%	±0.0%	+0.3%	+1.9%	-0.7%
大学・大学院・専門学校等に通学	4.2%	2.6%	6.6%	8.3%	2.6%	5.0%	4.1%	6.3%	9.5%	2.5%	-0.8%	-1.5%	+0.3%	-1.2%	+0.1%
就職したが、同時に学校にも通っている	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%
独立開業、もしくはフリーランス	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.5%	0.3%	0.0%	0.4%	-0.2%	-0.3%	±0.0%	+0.4%	-0.4%
その他	2.8%	3.1%	2.3%	3.8%	1.3%	2.2%	2.8%	1.2%	2.3%	0.4%	+0.6%	+0.3%	+1.1%	+1.5%	+0.9%

図2 現在自宅住まいか、一人暮らしか

	21年卒					20年卒					増減(21年卒-20年卒)				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
n=918															
自宅(両親または保護者と同居)	38.4%	44.0%	30.2%	39.6%	23.3%	44.0%	50.2%	33.6%	45.8%	20.9%	-5.6%	-6.2%	-3.4%	-6.2%	+2.4%
アパート、マンション、社宅、社員寮で一人暮らし	52.3%	49.1%	57.1%	54.0%	60.8%	40.0%	37.3%	44.4%	44.7%	49.0%	+12.3%	+11.8%	+12.7%	+9.3%	+11.8%
親戚、知人宅	0.5%	0.8%	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.5%	+0.8%	+0.1%	+0.4%	±0.0%
寮(共同生活)	5.9%	3.5%	9.5%	4.9%	10.8%	12.3%	8.9%	18.1%	6.4%	25.5%	-6.4%	-5.4%	-8.6%	-1.5%	-14.7%
シェアハウス	0.3%	0.2%	0.5%	0.4%	0.9%	0.7%	0.9%	0.3%	0.0%	0.4%	-0.4%	-0.7%	+0.2%	+0.4%	+0.5%
彼氏、彼女、配偶者、パートナーと同居	2.5%	2.4%	2.6%	0.8%	4.3%	2.3%	2.0%	2.9%	2.3%	3.3%	+0.2%	+0.4%	-0.3%	-1.5%	+1.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	-0.7%	-0.7%	-0.7%	-0.8%	-0.8%

図3 現在の勤務先の本社所在地の場所

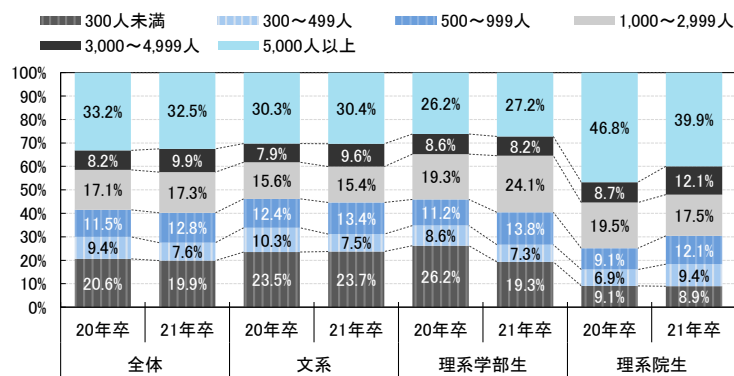
	21年卒					20年卒					増減(21年卒-20年卒)				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
n=851															
北海道	2.5%	3.2%	1.3%	1.7%	1.3%	3.3%	4.3%	1.7%	2.6%	1.3%	-0.8%	-1.1%	-0.4%	-0.9%	±0.0%
東北	1.4%	1.6%	1.2%	1.7%	0.9%	2.3%	2.8%	1.4%	3.0%	0.0%	-0.9%	-1.2%	-0.2%	-1.3%	+0.9%
東京都	50.4%	50.0%	51.0%	45.3%	53.8%	53.1%	53.8%	51.9%	47.2%	55.0%	-2.7%	-3.8%	-0.9%	-1.9%	-1.2%
関東(東京都以外)	9.8%	9.5%	10.3%	11.2%	9.9%	8.5%	8.4%	8.6%	11.6%	6.5%	+1.3%	+1.1%	+1.7%	-0.4%	+3.4%
甲信越	1.7%	1.7%	1.6%	2.6%	0.9%	1.3%	1.1%	1.6%	2.1%	1.7%	+0.4%	+0.6%	±0.0%	+0.5%	-0.8%
東海	10.2%	10.7%	9.5%	8.6%	9.9%	7.3%	5.9%	9.6%	10.3%	7.8%	+2.9%	+4.8%	-0.1%	-1.7%	+2.1%
北陸	1.7%	2.1%	1.0%	1.7%	0.9%	2.0%	2.1%	1.7%	2.6%	0.9%	-0.3%	±0.0%	-0.7%	-0.9%	±0.0%
関西	14.9%	13.2%	17.5%	18.1%	17.5%	15.3%	14.7%	16.4%	12.0%	20.8%	-0.4%	-1.5%	+1.1%	+6.1%	-3.3%
中国・四国	4.3%	4.5%	4.1%	5.2%	2.6%	3.5%	3.4%	3.7%	5.6%	2.6%	+0.8%	+1.1%	+0.4%	-0.4%	±0.0%
九州・沖縄	2.9%	3.4%	2.2%	3.9%	1.3%	4.2%	3.9%	4.6%	6.0%	3.5%	-1.3%	-0.5%	-2.4%	-2.1%	-2.2%
海外	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.1%	±0.0%	+0.3%	±0.0%	+0.9%

図4 現在の勤務地の場所

	21年卒					20年卒					増減(21年卒-20年卒)				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
n=851															
北海道	3.2%	4.3%	1.6%	1.7%	1.8%	4.8%	6.1%	2.6%	3.4%	1.7%	-1.6%	-1.8%	-1.0%	-1.7%	+0.1%
東北	3.4%	4.1%	2.3%	2.6%	1.8%	4.3%	5.2%	2.9%	3.9%	1.3%	-0.9%	-1.1%	-0.6%	-1.3%	+0.5%
東京都	29.6%	34.3%	22.5%	19.4%	25.6%	29.4%	32.0%	25.1%	24.9%	26.0%	+0.2%	+2.3%	-2.6%	-5.5%	-0.4%
関東(東京都以外)	19.8%	15.5%	26.4%	22.0%	29.1%	15.8%	13.2%	20.4%	20.6%	19.9%	+4.0%	+2.3%	+6.0%	+1.4%	+9.2%
甲信越	2.2%	2.0%	2.4%	3.4%	1.3%	2.1%	1.1%	3.7%	3.0%	4.3%	+0.1%	+0.9%	-1.3%	+0.4%	-3.0%
東海	10.6%	10.5%	10.9%	9.9%	12.6%	10.6%	9.3%	12.8%	13.7%	11.7%	±0.0%	+1.2%	-1.9%	-3.8%	+0.9%
北陸	2.4%	2.6%	2.0%	3.4%	1.8%	2.6%	2.1%	3.4%	3.4%	3.0%	-0.2%	+0.5%	-1.4%	±0.0%	-1.2%
関西	18.3%	16.2%	21.5%	23.3%	18.8%	19.4%	20.2%	18.1%	15.5%	21.6%	-1.1%	-4.0%	+3.4%	+7.8%	-2.8%
中国・四国	5.3%	5.0%	5.8%	7.8%	4.4%	6.7%	6.8%	6.4%	5.6%	6.9%	-1.4%	-1.8%	-0.6%	+2.2%	-2.5%
九州・沖縄	5.1%	5.5%	4.5%	6.5%	2.7%	4.2%	3.9%	4.6%	6.0%	3.5%	+0.9%	+1.6%	-0.1%	+0.5%	-0.8%
海外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	±0.0%

◆就活時理系院生だった人の勤務先従業員規模で5,000人以上は、前年より減るも4割弱を占める

図5 現在の勤務先の従業員規模 n=851



勤務先の従業員規模では、全体では前年（20年卒）と大きな変化はなかった。理系院生で、従業員5,000人以上が大きく減った（39.9%、前年比 6.9pt減）が、それでも4割近くを占めている（図5）。

勤務先の業種について、前年からの増減を見ていくと、文系で、最も増加割合が高かったのは「クレジット・信販・リース・その他金融（前年比 2.1pt増）」で、最も減少割合が高かったのは「専門商社（前年比 2.5pt減）」だった。理系学部生では、最も増加割合が高かったのは「食品・農林・水産（前年比 3.0pt増）」で、最も減少割合が高かったのは「ソフトウェア・情報処理・ネット関連（前年比 3.4pt減）」だった。理系院生では、最も増加割合が高かったのは「ソフトウェア・情報処理・ネット関連（前年比 3.4pt増）」で、最も減少割合が高かったのは「繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック（前年比 7.1pt減）」で、次が「電力・ガス・エネルギー（前年比 1.6pt減）」だった（図6）。

n=851	21年卒					20年卒					増減(21年卒-20年卒)				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生
50人未満	4.0%	5.1%	2.2%	4.3%	0.4%	4.0%	5.1%	2.3%	5.6%	0.0%	±0.0%	±0.0%	-0.1%	-1.3%	+0.4%
50~99人	3.6%	3.9%	3.1%	4.7%	2.2%	4.0%	4.9%	2.5%	4.3%	1.3%	-0.4%	-1.0%	+0.6%	+0.4%	+0.9%
100~299人	12.3%	14.7%	8.6%	10.3%	6.3%	12.6%	13.5%	11.2%	16.3%	7.8%	-0.3%	+1.2%	-2.6%	-6.0%	-1.5%
300~499人	7.6%	7.5%	7.7%	7.3%	9.4%	9.4%	10.3%	7.7%	8.6%	6.9%	-1.8%	-2.8%	±0.0%	-1.3%	+2.5%
500~999人	12.8%	13.4%	11.8%	13.8%	12.1%	11.5%	12.4%	9.9%	11.2%	9.1%	+1.3%	+1.0%	+1.9%	+2.6%	+3.0%
1,000~2,999人	17.3%	15.4%	20.3%	24.1%	17.5%	17.1%	15.6%	19.6%	19.3%	19.5%	+0.2%	-0.2%	+0.7%	+4.8%	-2.0%
3,000~4,999人	9.9%	9.6%	10.4%	8.2%	12.1%	8.2%	7.9%	8.7%	8.6%	8.7%	+1.7%	+1.7%	+1.7%	-0.4%	+3.4%
5,000人以上	32.5%	30.4%	35.8%	27.2%	39.9%	33.2%	30.3%	37.9%	26.2%	46.8%	-0.7%	+0.1%	-2.1%	+1.0%	-6.9%
1,000人以上	59.8%	55.4%	66.6%	59.5%	69.5%	58.5%	53.9%	66.3%	54.1%	74.9%	+1.3%	+1.5%	+0.3%	+5.4%	-5.4%

図6 現在の勤務先の業種

n=851 * 太字は5.0%以上	業種大分類	21年卒					20年卒					増減(21年卒-20年卒)					
		全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	
建設・設備工事	建設	4.2%	2.6%	6.6%	8.6%	3.1%	4.2%	3.7%	5.0%	6.9%	2.2%	±0.0%	-1.1%	+1.6%	+1.7%	+0.9%	
住宅・インテリア	建設	0.8%	0.7%	0.9%	1.7%	0.0%	0.6%	0.6%	0.7%	1.7%	0.0%	+0.2%	+0.1%	+0.2%	±0.0%	±0.0%	
食品・農林・水産	製造	4.9%	2.2%	9.1%	11.2%	9.4%	4.2%	3.2%	6.1%	8.2%	6.5%	+0.7%	-1.0%	+3.0%	+3.0%	+2.9%	
アパレル・服飾関連		0.7%	0.9%	0.3%	0.4%	0.0%	0.5%	0.6%	0.3%	0.0%	0.4%	+0.2%	+0.3%	±0.0%	+0.4%	-0.4%	
繊維・化学・ゴム・ガラス・セラミック		3.6%	1.8%	6.3%	3.0%	9.4%	5.1%	2.7%	9.2%	2.1%	16.5%	-1.5%	-0.9%	-2.9%	+0.9%	-7.1%	
薬品・化粧品		4.2%	2.0%	7.4%	9.5%	9.9%	3.9%	0.9%	8.9%	8.6%	11.3%	+0.3%	+1.1%	-1.5%	+0.9%	-1.4%	
鉄鋼・金属・鋳業		1.8%	0.7%	3.4%	1.7%	4.0%	1.9%	1.8%	2.1%	1.3%	2.6%	-0.1%	-1.1%	+1.3%	+0.4%	+1.4%	
機械・プラント		3.1%	1.4%	5.6%	2.6%	6.3%	4.2%	2.7%	6.7%	5.2%	6.1%	-1.1%	-1.3%	-1.1%	-2.6%	+0.2%	
電子・電気機器		5.8%	3.7%	9.0%	3.0%	11.7%	5.6%	3.8%	8.7%	4.7%	10.8%	+0.2%	-0.1%	+0.3%	-1.7%	+0.9%	
自動車・輸送用機器		4.3%	4.1%	4.6%	3.0%	5.4%	4.8%	3.4%	7.2%	4.7%	6.9%	-0.5%	+0.7%	-2.6%	-1.7%	-1.5%	
精密・医療機器		1.6%	0.6%	3.1%	3.4%	3.1%	1.0%	0.6%	1.9%	0.9%	2.6%	+0.6%	±0.0%	+1.2%	+2.5%	+0.5%	
印刷・事務機器・日用品		1.5%	1.5%	1.5%	1.3%	1.8%	0.8%	0.8%	0.7%	0.4%	1.7%	+0.7%	+0.7%	+0.8%	+0.9%	+0.1%	
スポーツ・玩具・ゲーム製品		0.4%	0.5%	0.1%	0.4%	0.0%	0.4%	0.5%	0.3%	0.4%	0.0%	±0.0%	±0.0%	-0.2%	±0.0%	±0.0%	
その他メーカー		1.3%	1.6%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	1.1%	0.9%	1.3%	0.4%	+0.3%	+0.5%	±0.0%	-0.4%	+0.5%	
総合商社		商社	0.6%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.4%	0.6%	0.4%	0.4%	-0.5%	-0.3%	-0.6%	-0.4%	-0.4%
専門商社	1.3%		1.0%	1.8%	2.6%	0.9%	2.2%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.9%	-2.5%	+1.8%	+2.6%	+0.9%	
百貨店・スーパー・コンビニ	小売	1.5%	2.2%	0.5%	0.4%	0.4%	2.0%	2.7%	0.9%	1.7%	0.4%	-0.5%	-0.5%	-0.4%	-1.3%	±0.0%	
専門店		1.2%	1.6%	0.6%	0.9%	0.4%	0.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.3%	+0.2%	+0.6%	+0.9%	+0.4%	
銀行・証券	金融	4.5%	6.7%	1.2%	0.9%	1.3%	5.0%	7.1%	1.4%	1.3%	1.3%	-0.5%	-0.4%	-0.2%	-0.4%	±0.0%	
クレジット・信販・リース・その他金融		1.8%	2.7%	0.5%	0.9%	0.0%	0.5%	0.6%	0.3%	0.4%	0.0%	+1.3%	+2.1%	+0.2%	+0.5%	±0.0%	
生保・損保	2.3%	3.4%	0.8%	0.4%	0.9%	1.9%	2.8%	0.3%	0.9%	0.0%	+0.4%	+0.6%	+0.5%	-0.5%	+0.9%		
放送・新聞・出版	マスコミ	1.2%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	2.4%	0.9%	1.3%	0.4%	-0.6%	-0.4%	-0.9%	-1.3%	-0.4%	
広告・芸能		0.6%	0.7%	0.5%	0.9%	0.0%	1.2%	1.9%	0.1%	0.4%	0.0%	-0.6%	-1.2%	+0.4%	+0.5%	±0.0%	
ソフトウェア・情報処理・ネット関連	ソフトウェア・通信	14.3%	15.5%	12.5%	12.5%	12.1%	13.5%	14.3%	12.2%	15.9%	8.7%	+0.8%	+1.2%	+0.3%	-3.4%	+3.4%	
ゲームソフト		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.6%	0.9%	0.0%	-0.2%	±0.0%	-0.6%	-0.9%	±0.0%	
通信	2.4%	2.5%	2.4%	2.2%	1.3%	1.4%	1.4%	1.6%	2.1%	0.9%	+1.0%	+1.1%	+0.8%	+0.1%	+0.4%		
鉄道・航空	インフラ	1.6%	1.6%	1.5%	0.4%	2.2%	3.2%	3.6%	2.4%	1.7%	2.2%	-1.6%	-2.0%	-0.9%	-1.3%	±0.0%	
陸運・海運・物流		2.1%	3.1%	0.6%	0.9%	0.4%	1.6%	2.2%	0.6%	0.4%	0.4%	+0.5%	+0.9%	±0.0%	+0.5%	±0.0%	
電力・ガス・エネルギー	1.9%	1.9%	2.1%	1.7%	2.7%	1.7%	0.6%	3.6%	1.7%	4.3%	+0.2%	+1.3%	-1.5%	±0.0%	-1.6%		
不動産	1.2%	1.9%	0.1%	0.0%	0.4%	1.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.6%	-0.9%	+0.1%	±0.0%	+0.4%		
給食・フードサービス	サービス	0.7%	0.9%	0.3%	0.9%	0.0%	0.5%	0.2%	1.0%	3.0%	0.0%	+0.2%	+0.7%	-0.7%	-2.1%	±0.0%	
ホテル・旅行		1.6%	2.6%	0.1%	0.4%	0.0%	0.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.8%	+1.3%	+0.1%	+0.4%	±0.0%	
医療・調剤薬局		3.2%	1.9%	5.1%	13.4%	0.4%	3.0%	1.4%	5.6%	12.0%	1.3%	+0.2%	+0.5%	-0.5%	+1.4%	-0.9%	
介護・福祉サービス		1.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.9%	0.3%	0.9%	0.0%	+0.3%	+0.7%	-0.3%	-0.9%	±0.0%	
アミューズメント・レジャー		0.9%	1.5%	0.1%	0.4%	0.0%	0.3%	0.3%	0.1%	0.0%	0.4%	+0.6%	+1.2%	±0.0%	+0.4%	-0.4%	
コンサルティング・調査		1.6%	1.7%	1.5%	0.4%	2.2%	2.1%	2.6%	1.3%	0.4%	2.2%	-0.5%	-0.9%	+0.2%	±0.0%	±0.0%	
人材サービス(派遣・紹介)		1.3%	1.1%	1.5%	1.3%	1.3%	1.6%	1.9%	1.0%	0.9%	1.7%	-0.3%	-0.8%	+0.5%	+0.4%	-0.4%	
教育		1.5%	1.6%	1.4%	0.9%	1.3%	2.5%	3.4%	0.9%	1.7%	0.4%	-1.0%	-1.8%	+0.5%	-0.8%	+0.9%	
エステ・理美容・フィットネス		0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.5%	-0.8%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	
冠婚葬祭		0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.3%	-0.4%	±0.0%	±0.0%	±0.0%	
その他サービス		3.9%	5.0%	2.4%	2.6%	2.7%	2.8%	3.3%	1.9%	2.1%	2.6%	+1.1%	+1.7%	+0.5%	+0.5%	+0.1%	
官公庁・公社・団体		官公庁	6.6%	8.4%	3.7%	4.3%	3.6%	5.9%	7.2%	3.7%	3.4%	4.3%	+0.7%	+1.2%	±0.0%	+0.9%	-0.7%

◆勤務先のインターンシップに参加していた割合は前年より増加し約4割 就活時理系院生では45.3%

図7 現在の勤務先のインターンシップに参加していたか、何回参加したか n=851

※全体に対する割合

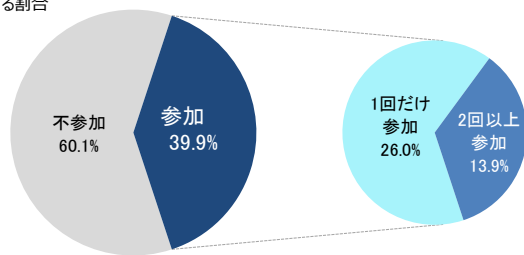


図8 現在の勤務先のインターンシップに参加していた割合・前年比 n=851

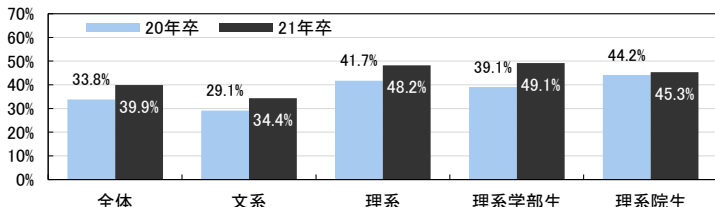


図9 現在の勤務先のインターンシップに2回以上参加したか n=353

※インターンシップに参加していた人に対する割合

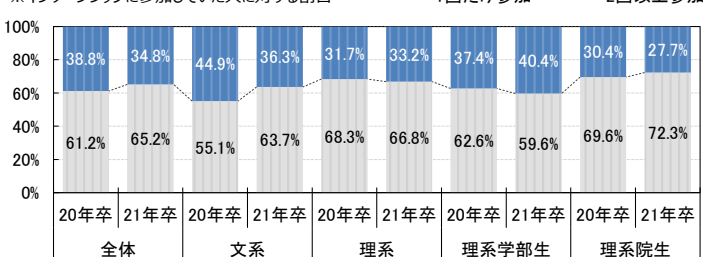


図10 現在の勤務先のインターンシップに何日間参加したか n=851

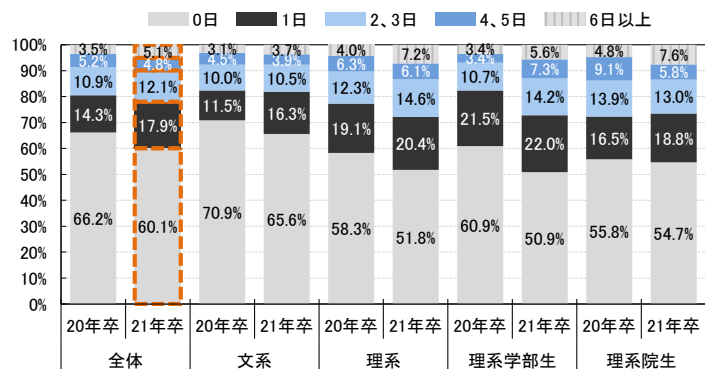
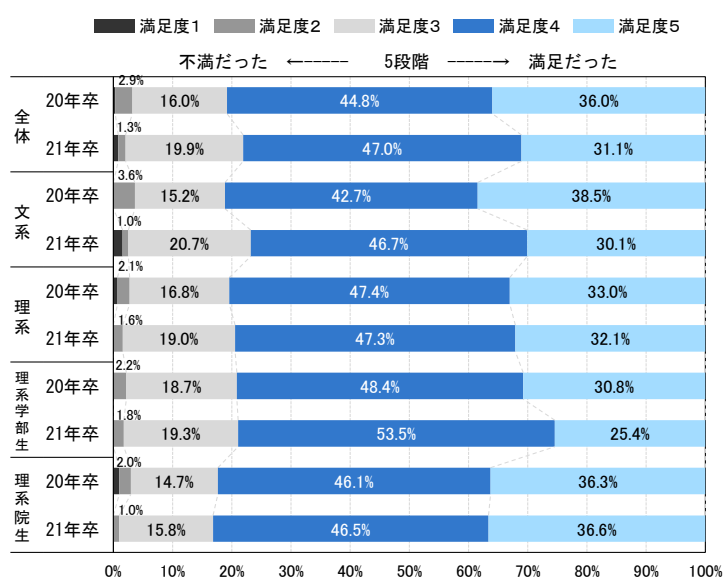


図11 現在の勤務先のインターンシップの満足度 n=353

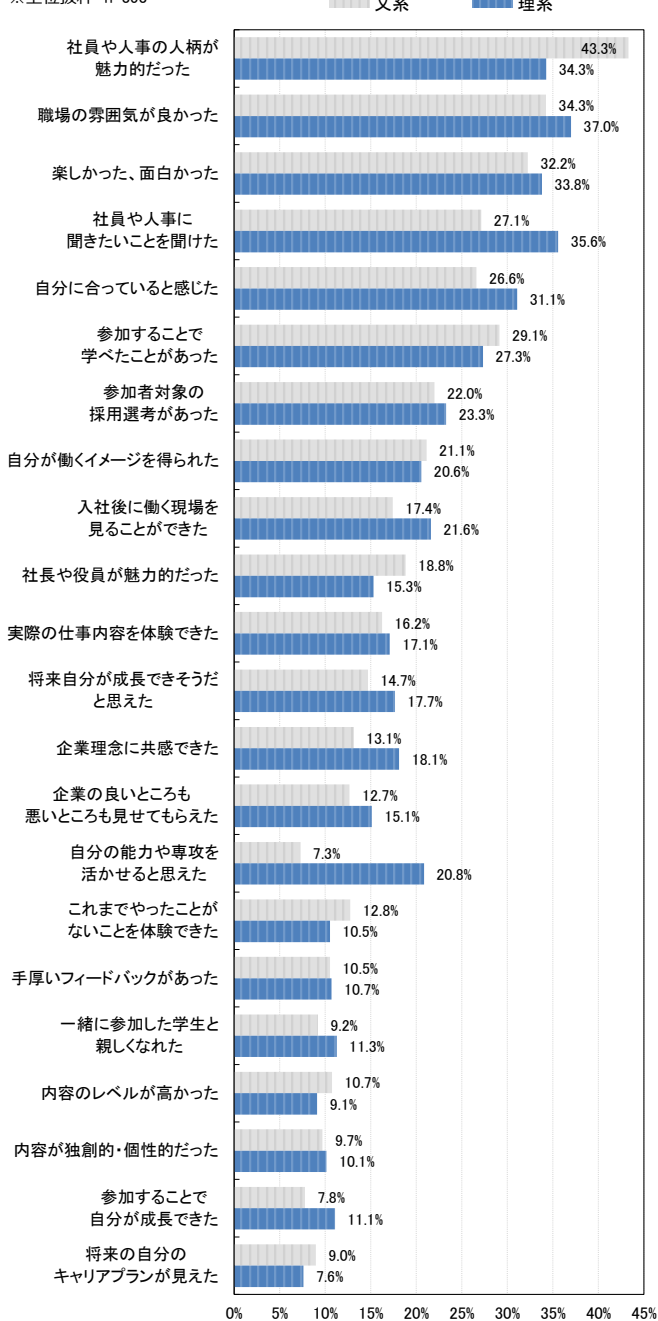


現在の勤務先のインターンシップに参加していた割合は39.9%で前年より6.1pt増加した(図7)。文系(34.4%、前年比5.3pt増)より理系(48.2%、前年比6.5pt増)の方が高い割合だった。就活時理系学部生だった人は49.1%(前年比10.0pt増)理系院生だった人は45.3%(前年比1.1pt増)だった(図8)。インターンシップに参加していた人のうち2回以上参加したのは34.8%(前年比4.0pt減)だった(図9)。参加日数では1日が全体の17.9%(前年比3.6pt増)2日以上参加したのは22.0%(前年比2.4pt増)だった。理系は2日以上参加が27.9%で文系(18.1%)よりかなり多い(図10)。

インターンシップの満足度を聞いたところ、最も高い「満足度5」だった人は31.1%(前年比4.9pt減)、次に高い「満足度4」だった人は47.0%(前年比2.2pt増)だった(図11)。勤務先のインターンシップにあてはまるものを、良かったインターンシップの特長から作成した選択肢の中から複数選択で選んでもらったところ、文系では「社員や人事の人柄が魅力的だった(43.3%)」の割合が最も高く、次が「職場の雰囲気良かった(34.3%)」だった。理系では「職場の雰囲気が良かった(37.0%)」の割合が最も高く、次が「社員や人事に聞きたいことを聞けた(35.5%)」だった(図12)。

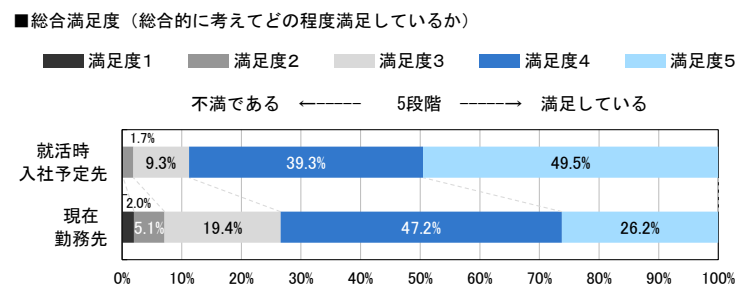
図12 現在の勤務先のインターンシップにあてはまるもの(複数回答)

※上位抜粋 n=353



◆就活時入社予定先満足度が最高(5)だった人のうち入社半年後も勤務先満足度が5なのは約半数

図13 就活時の入社予定先の満足度と現在の勤務先の総合満足度比較 n=610



<20年卒(前年)>

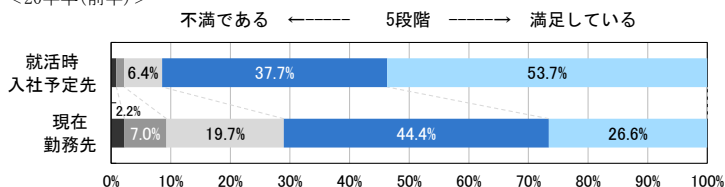
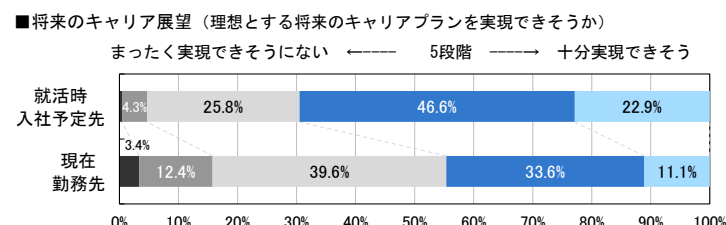
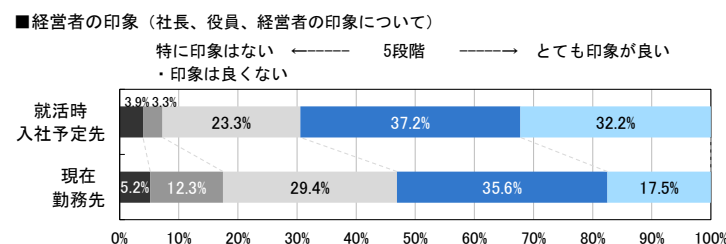
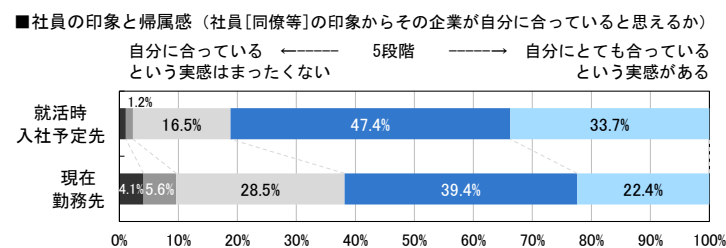
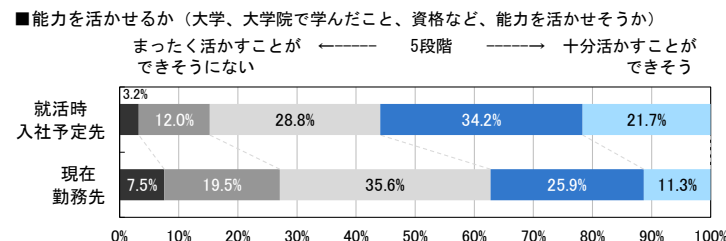
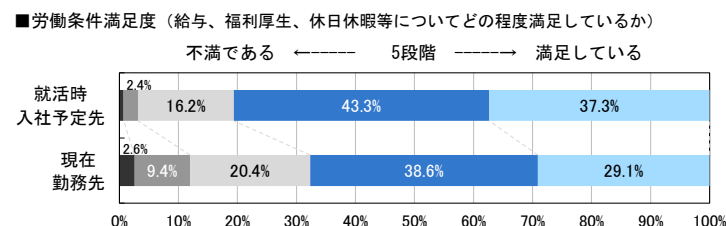


図14 満足度の側面比較・就活時と現在 n=610



調査回答者のうち、就職活動時の7月末までに入社予定先を決めて就職活動を終了していた人（610名）限定で、就職活動時の入社予定先の満足度※と現在の勤務先の満足度を比較した（図13）。

※就活時入社予定先の満足度は「マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査」の「7月の活動状況」または「6月の活動状況」の回答内容を参照

就活時の入社予定先が決まった段階で、その入社予定先企業の総合的な満足度を聞くと、5段階で最も高い「満足度5」を選んだ学生は全体の約半数の49.5%だった（前年比4.2pt減）。しかし、入社半年後の段階で現在の勤務先の総合的な満足度を聞くと、「満足度5」を選んだのは26.2%（前年比0.4pt減）と約半分に減っていた。この入社後に明らかに満足度が下がるという傾向は、前年の調査でも同様に見られた。

もし、この「満足度が下がる」という現象が、どういったことに関連して起こるのか、あるいは、どういったケースでは満足度が下がらないのかわかったら、企業は、新卒で入社した社員の離職を防ぎ、就職活動時の高いモチベーションを入社後も維持してもらうための工夫ができるだろう。また、就職活動する学生の側も、入社後に期待外れな思いをすることを避けられるかもしれない。

そういった観点から、前年調査で分析を行ったところ、この「入社後に満足度が下がる」という現象は、就職先の「業種」や「従業員規模」に関わらず発生することが分かった。また、「就職活動時に現在の勤務先のインターンシップに参加していた」事例においては、「インターンシップの満足度が最高（満足度5）」だった場合に限り、入社後満足度が減ることが少なくなることが判明した。

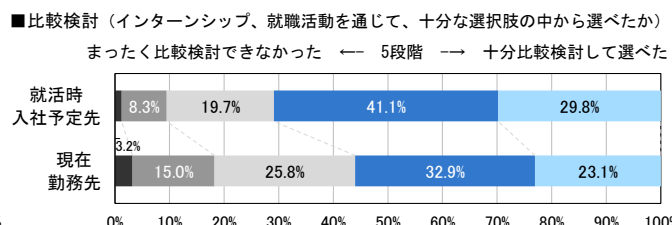
そこで、今回の調査では、さらに「どのようなインターンシップに参加していたら、入社後の満足度が最高（満足度5）になることが多いのか」について、分析していく。

まずは、前年同様「入社後に満足度が下がる」という傾向が発生していることを、今回の調査結果から見ていこう。

冒頭のグラフで見た通り、今年の調査でも「入社後に満足度は下がっている」が、その「評価が下がる」という状況は、どういった側面において起こっているのだろうか。そこで「就職活動時の入社予定先」と「現在の勤務先」について、それぞれの時点で聞いた6つの側面（労働条件、能力を活かせるか、社員の印象と帰属感、経営者の印象、将来のキャリア展望、比較検討）の評価を見ていく（図14）。

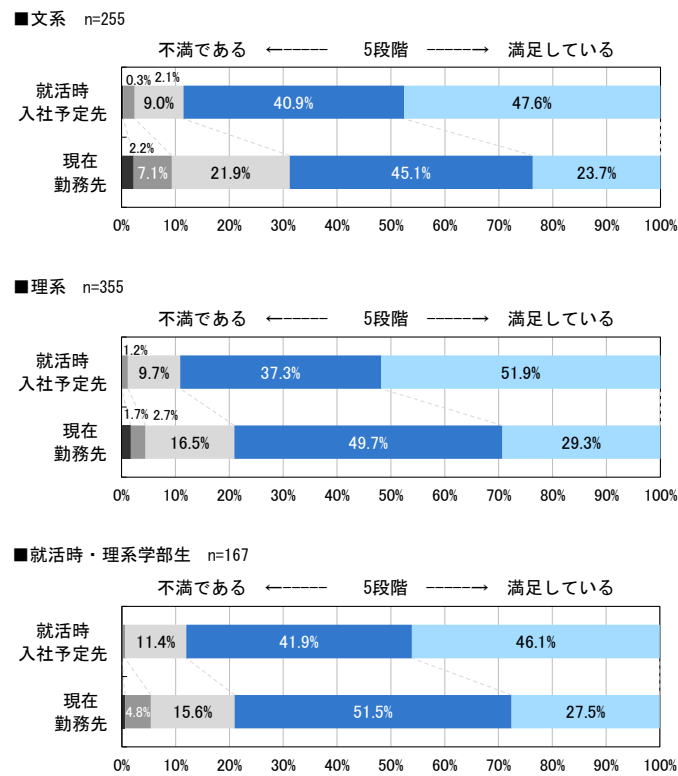
まず、「労働条件満足度」（給与、福利厚生、休日休暇等についてどの程度満足しているか）は、下がってはいるが総合満足度のように「満足度5が半減」までにはなっていない（満足度5の変化：就活時37.3% → 現在29.1%）。つまり、入社してみて「思っていた労働条件と違うので評価が下がる」ことはある程度起こっているが、これが総合満足度が下がる要因だとまでは言えなさそうだ。

一方、「満足度5が半減」に近いのが「能力を活かせるか（就活時21.7% → 現在11.3%）」と「将来のキャリア展望（就活時22.9% → 現在11.1%）」である。それぞれ「満足度4」の割合も大きく減っているため、これらが総合満足度が下がる要因となっているケースは、労働条件よりも多そうだ。つまり、「入社して働き始めたら、学生時代に身に付けた能力が思ったより活かせないことに気づいた」や「入社前に描いていた将来のキャリア展望が、入社したら見えなくなってきた」ということで、入社後に満足度が下がるということが起こっているのではと考えられるだろう。



◆文系のほうが理系より入社後に満足度が下がる人が多い。理系は院生のほうが下がる幅が大きい

図15 総合満足度比較・文理別 + 理系学部生院生別

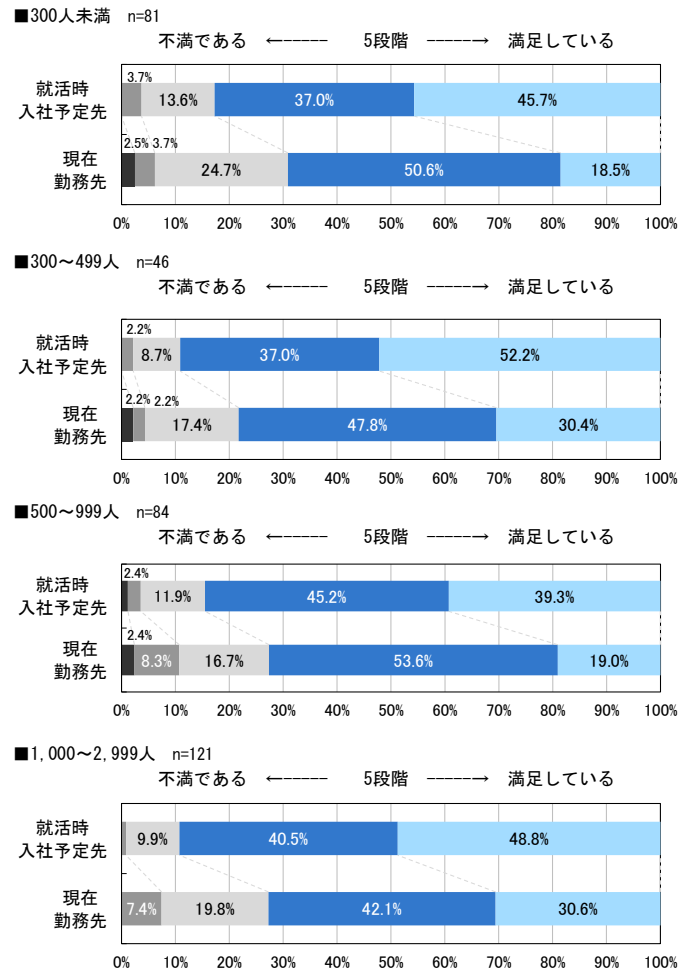


入社後に満足度が下がる状況を文理別に見ると、文系は「満足度5」が、就活時47.6% → 現在23.7% (23.9pt減)、理系は就活時51.9% → 現在29.3% (22.6pt減) で、文系のほうがやや下がる幅が大きくなっている。しかし、それより顕著な文理の違いは「満足度3以下」の割合で、就活時は文系11.4%、理系10.9%でほとんど変わらない割合だったが、現在(入社後)は文系が31.2%で、理系(20.9%)より10pt以上高い割合となっている(図15)。

理系について、就活時に学部生だった人と院生だった人で比較すると、理系学部生は「満足度5」が就活時46.1% → 現在27.5%であるのに対し、理系院生は就活時56.4% → 現在29.8%で、下がる幅が理系院生のほうが大きくなった。就活時に入社予定先を決めた時には理系院生のほうが満足度が高い人が多いが、入社して半年経つと学部生と院生で差がなくなっている。

◆現在の勤務先満足度を従業員規模別で見ると、就活時入社予定先の時より差が小さくなっている

図16 総合満足度比較・勤務先の従業員規模別



従業員規模別で「総合満足度」を見たところ、「就活時入社予定先」の満足度では、「満足度5」の割合は従業員規模の最も大きい「5,000人以上」で56.7%と最も高く、最も低い「500~999人(39.3%)」との差は17.4ptあった(図16)。

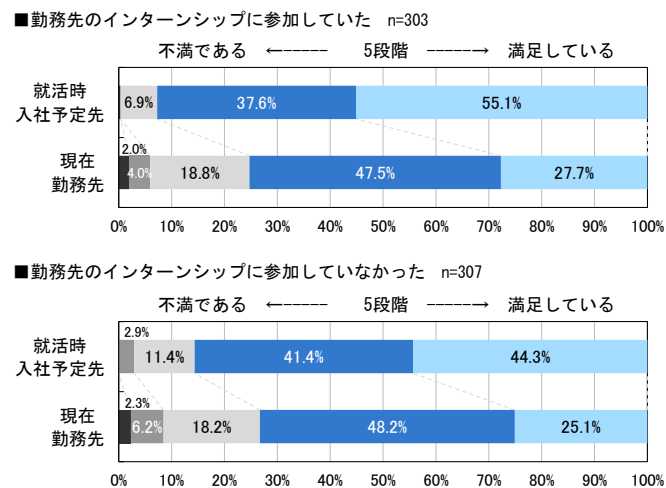
一方、「現在の勤務先」の満足度では、「満足度5」の割合が最も高いのは「1,000~2,999人」の30.6%で、最も低い「300人未満」の18.5%との差は12.1ptとやや小さくなった。

従業員規模に関わらず「満足度5」の割合は就活時から現在(入社後)にかけて減っているが、最も減ったのは「300人未満」の27.2pt減で、次が「5,000人以上」の26.7pt減となった。

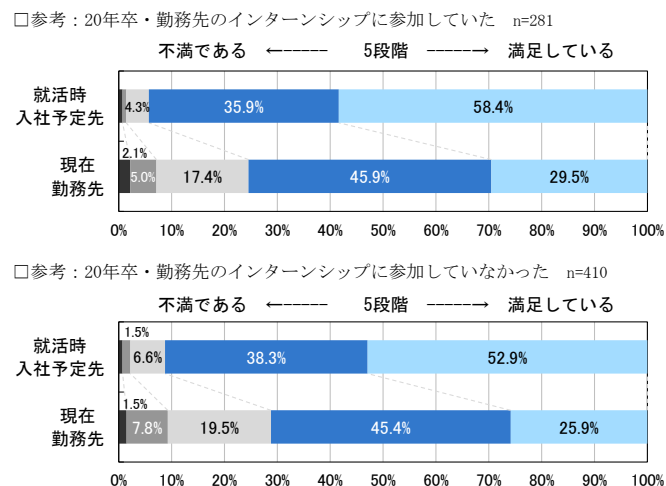
入社予定先が決まった時点では、従業員規模が最も大きい「5,000人以上」に決まった人の満足度が最も高いが、入社して半年経つと従業員規模が大きい企業に勤務している人の満足度が高いとは必ずしも言えなくなる。

◆勤務先のインターンシップの満足度が最高(5)だった場合、入社後の勤務先満足度はあまり下がらない

図17 総合満足度比較・勤務先のインターンシップ参加・不参加



<20年卒（前年）>



前年調査の分析では、勤務先のインターンシップに参加しその「インターンシップの満足度」が最高（満足度5）だった場合、現在（入社後）の勤務先満足度があまり下がらなかったが、今年の調査結果からも同じことが言えるか検証していきたい。

まず、勤務先のインターンシップに参加していた人と参加していなかった人で、「入社予定先の総合満足度」から「勤務先の総合満足度」への変化を比較したところ、インターンシップに参加していても参加してなくても前年と同様に満足度は下がった（図17）。

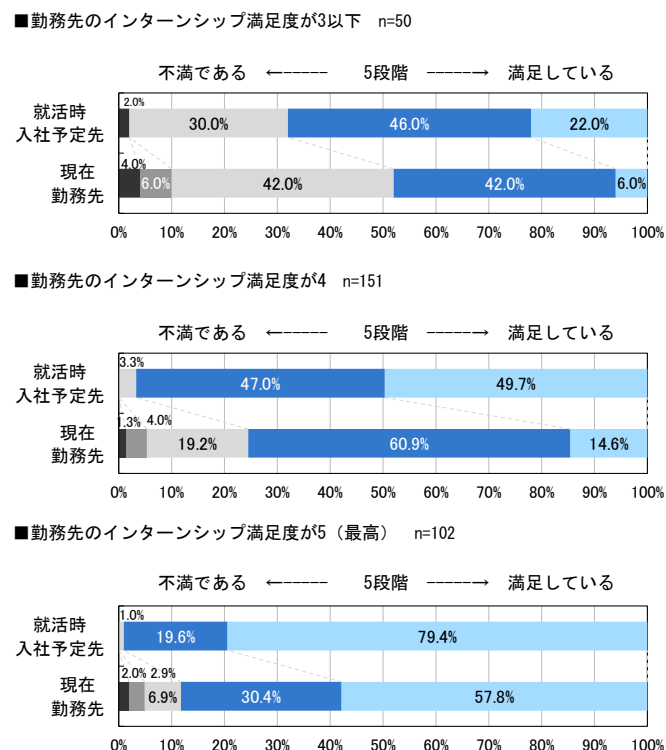
就活時の入社予定先満足度5の割合は、インターンシップに参加していた場合55.1%であるのに対し、参加していなかった場合44.3%で、10pt以上の差があった。しかし、現在（入社後）の勤務先満足度5の割合は、インターンシップに参加していた場合27.7%、参加していなかった場合25.1%で、わずかな差になった。すなわち、インターンシップに参加していた企業に入社予定となった場合、その時点では満足度は高かったが、入社して半年経つとインターンシップ不参加の場合とあまり変わらなくなるといふことだ。

前年は就活時にあったインターンシップ参加の場合と不参加の場合の満足度の差が入社後にどちらも同じように満足度が下がり、その差が維持されていた。よって今年はやや違った印象を受ける結果となっている。

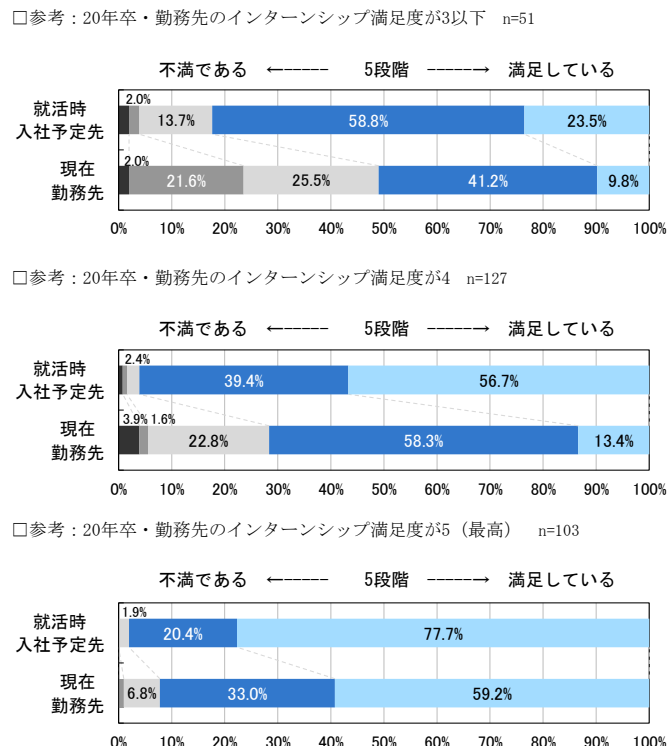
次に、勤務先の「インターンシップ満足度」が「3以下」「4」「5（最も高い）」の場合で、それぞれ就活時と現在の満足度を比較したところ、「インターンシップ満足度3以下」「インターンシップ満足度4」では満足度が大きく下がったのに対し、「インターンシップ満足度5」ではあまり下がらなかった。「インターンシップ満足度3以下」の場合、現在の勤務先満足度が5なのはわずか6.0%であるのに対し、「インターンシップ満足度5」では57.8%が勤務先満足度5と回答しており、圧倒的な差がついた（図18）。

前年の結果と並べてみてもほぼ同じ傾向となっており、今年の結果でも「勤務先のインターンシップの満足度が最高（5）だった場合、入社後も勤務先満足度はあまり下がらない」と言える。前年にも指摘したが「就職活動前の夏にインターンシップに参加して得た高い満足度が、約2年の時を経て入社半年後の満足度に影響している」のである。

図18 総合満足度比較・勤務先のインターンシップ満足度別



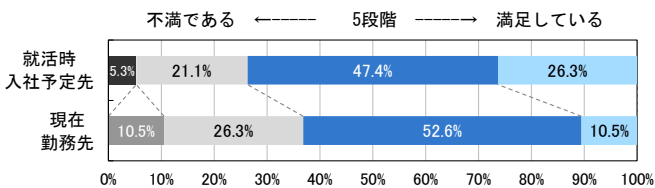
<20年卒（前年）>



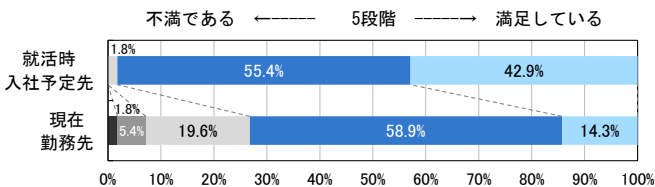
◆理系のほうが文系より「勤務先のインターンシップ満足度が最高」の勤務先満足度に対する効果が高い

図19 文系・総合満足度比較・勤務先のインターンシップ満足度別

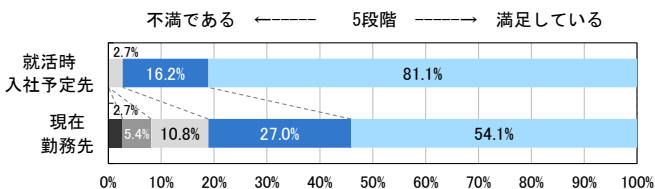
■文系・勤務先のインターンシップ満足度が3以下 n=19 ※対象回答数が少ないため参考値



■文系・勤務先のインターンシップ満足度が4 n=56



■文系・勤務先のインターンシップ満足度が5（最高） n=37



次に「勤務先のインターンシップ満足度が5の場合、現在の勤務先満足度があまり下がらない」という効果について、文理別に見ていきたい。

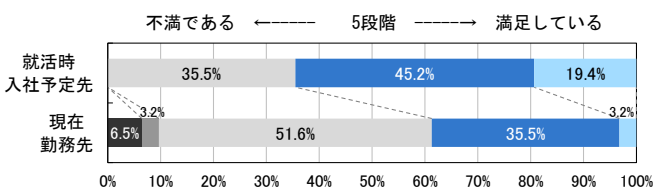
文科系では、インターンシップ満足度が「3以下」のサンプルが19しかないため、インターンシップ満足度「4」と「5」で比較したい。入社予定先満足度5の割合は「インターンシップ満足度4」の場合の42.9%に対し「インターンシップ満足度5」は81.1%で、「インターンシップ満足度」が入社予定先満足度に大きく関連していた。さらに、現在の勤務先満足度5の割合は「インターンシップ満足度4」では14.3%とかなり下がるのに対し「インターンシップ満足度5」では54.1%で、大きな差がついている（図19）。

理系では、入社予定先満足度5の割合は「インターンシップ満足度3以下」では19.4%だが、「インターンシップ満足度4」で53.7%、「インターンシップ満足度5」で78.5%と、文科系同様「インターンシップ満足度」と入社予定先満足度は大きく関連していた。現在の勤務先満足度5の割合は「インターンシップ満足度3以下」ではわずか3.2%で、「インターンシップ満足度4」でも14.7%と少ないのに対し、「インターンシップ満足度5」では60.0%と多くの人が高い満足度を維持していた（図20）。

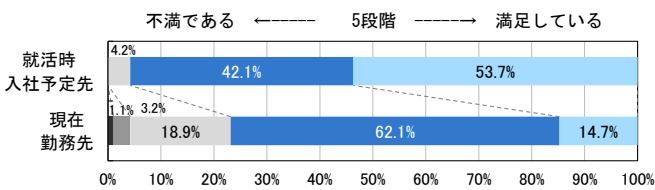
ここで、理系における「能力を活かせそうか」についての就活時→入社後の評価の変化との関係を見ていきたい。就活時の「入社予定先で能力を活かせそうか」の評価「5」（＝十分活かすことができそう）の割合は「インターンシップ満足度3以下」で32.3%「インターンシップ満足度4」で33.7%であるのに対し、「インターンシップ満足度5」では40.0%でやや高いという程度だった。しかし、「現在の勤務先で能力を活かせそうか」の評価「5」の割合は「インターンシップ満足度3以下」で9.7%「インターンシップ満足度4」で17.9%なのに対し、「インターンシップ満足度5」では35.4%と大きな差があった。このことから「インターンシップ満足度5」の場合に勤務先の満足度があまり下がらない要因のひとつとして「インターンシップ時にその企業で自分の能力が発揮できると『正しく』感じることができていた」ということが考えられる（図21）。

図20 理系・総合満足度比較・勤務先のインターンシップ満足度別

■理系・勤務先のインターンシップ満足度が3以下 n=31



■理系・勤務先のインターンシップ満足度が4 n=95



■理系・勤務先のインターンシップ満足度が5（最高） n=65

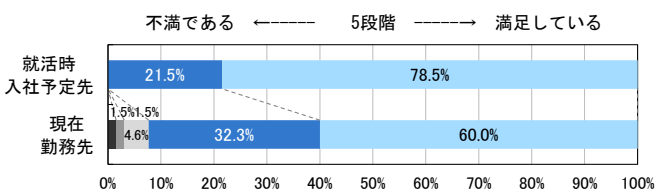
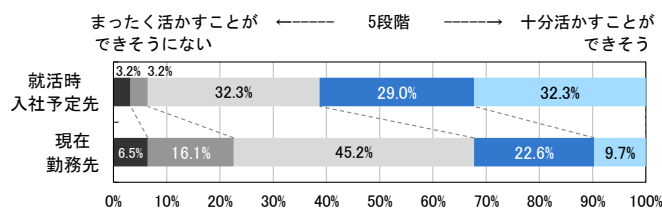
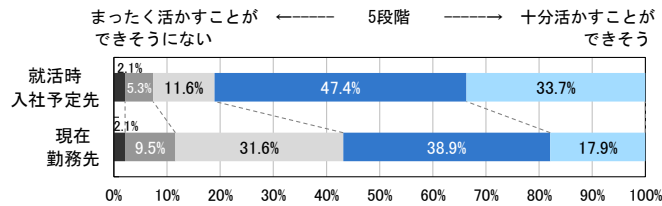


図21 理系・能力を活かせそうか・勤務先のインターンシップ満足度別

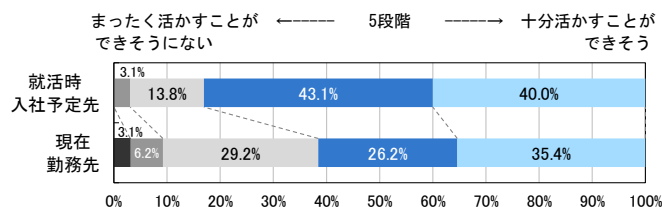
■理系・勤務先のインターンシップ満足度が3以下 n=31



■理系・勤務先のインターンシップ満足度が4 n=95

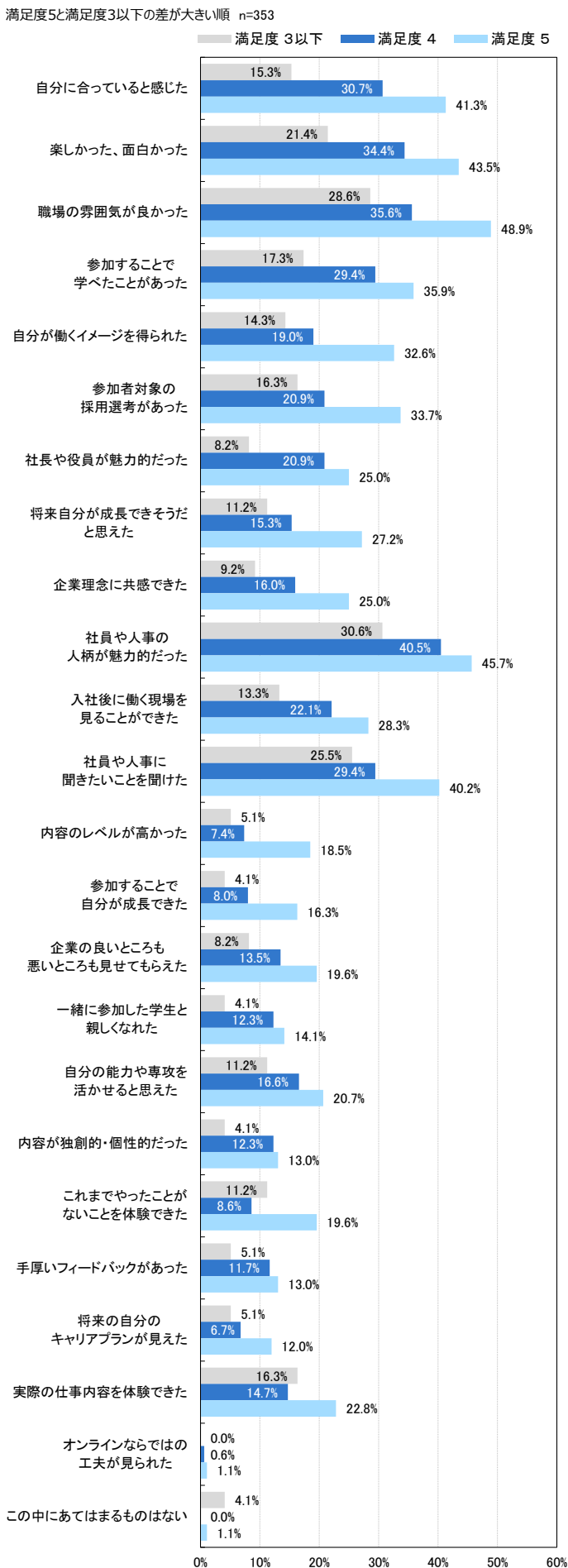


■理系・勤務先のインターンシップ満足度が5（最高） n=65



◆勤務先満足度が最高の新入社員は、就活時のインターンシップで「自分に合っていると感じた」人が多い

図22 勤務先満足度別・現在の勤務先のインターンシップにあてはまるもの（複数回答）



ここまでの分析で勤務先の「インターンシップ満足度が5」の場合、現在の勤務先満足度があり下がらないことが確認できた。では、現在の勤務先の満足度が高い人が参加した「勤務先のインターンシップ」はどのようなものだったのだろうか。そこで、現在の勤務先の満足度別に「勤務先のインターンシップにあてはまるもの」を見ていきたい。

勤務先満足度3以下と満足度5で最も大きな差がついたのは「自分に合っていると感じた（26.0pt差）」だった。次が「楽しかった、面白かった（22.1pt差）」、3番目が「職場の雰囲気が良かった（20.3pt差）」となった（図22）。

ただ、これは文理でかなり違ってくる。文系で最も差がついたのは「参加することで学べたことがあった（22.1pt差）」で、次は「職場の雰囲気が良かった（21.3pt差）」と「内容のレベルが高かった（21.3pt差）」が同じ差となった（図23）。

一方、理系で最も差がついたのは「自分に合っていると感じた（31.6pt差）」で、以下「楽しかった、面白かった（28.1pt差）」、「入社後に働く現場を見ることができた（22.8pt差）」となった（図24）。

この結果から考えると、まず文系ではインターンシップで「学習効果」を得られたことが、のちの勤務先の満足度につながっていると考えられる。「内容のレベルが高かった」もインターンシップの参加によって何か得るものがあったことを暗示している。また、理系のように「大学での研究の延長線上に仕事内容がある」ことは多くはないと思われるので、5番目の「自分が働くイメージを得られた（19.2pt差）」も重要な要素となる。理系では「自分に合っていると感じた」が最も差が大きいが、これは「職場の雰囲気が合っている」という要素もあるが、それ以上に「自分が仕事としてやりたいことと合っている」ことが重要だと考えられる。また「研究内容」が「将来の仕事」や「自分の興味」につながるケースが文系より多いと思われるので、それがインターンシップの内容や目的と合致し、さらに仕事への興味が増すことによって「楽しかった、面白かった」と感じたということも考えられる。

図23 文系・勤務先満足度別・勤務先のインターンシップにあてはまるもの

（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=138

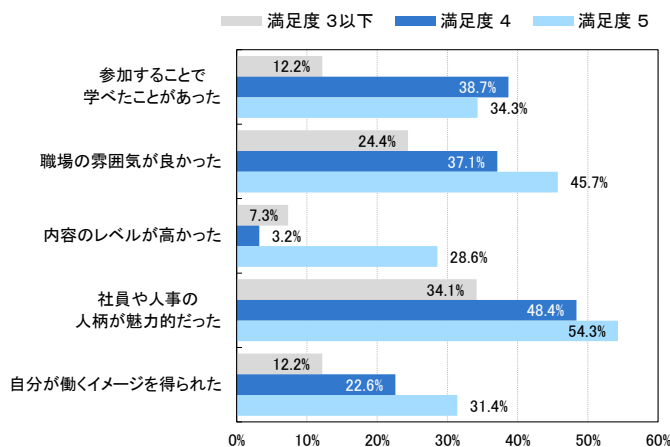
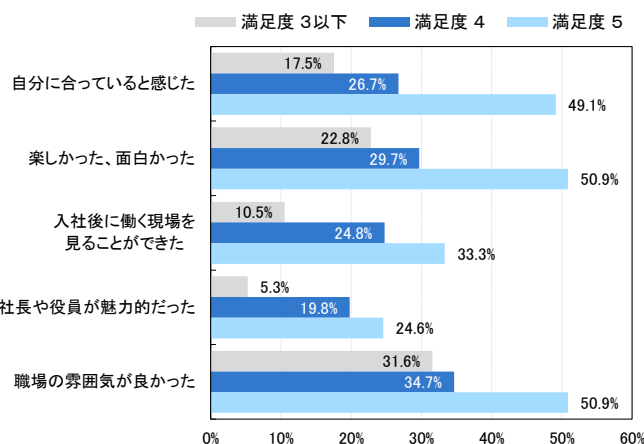


図24 理系・勤務先満足度別・勤務先のインターンシップにあてはまるもの

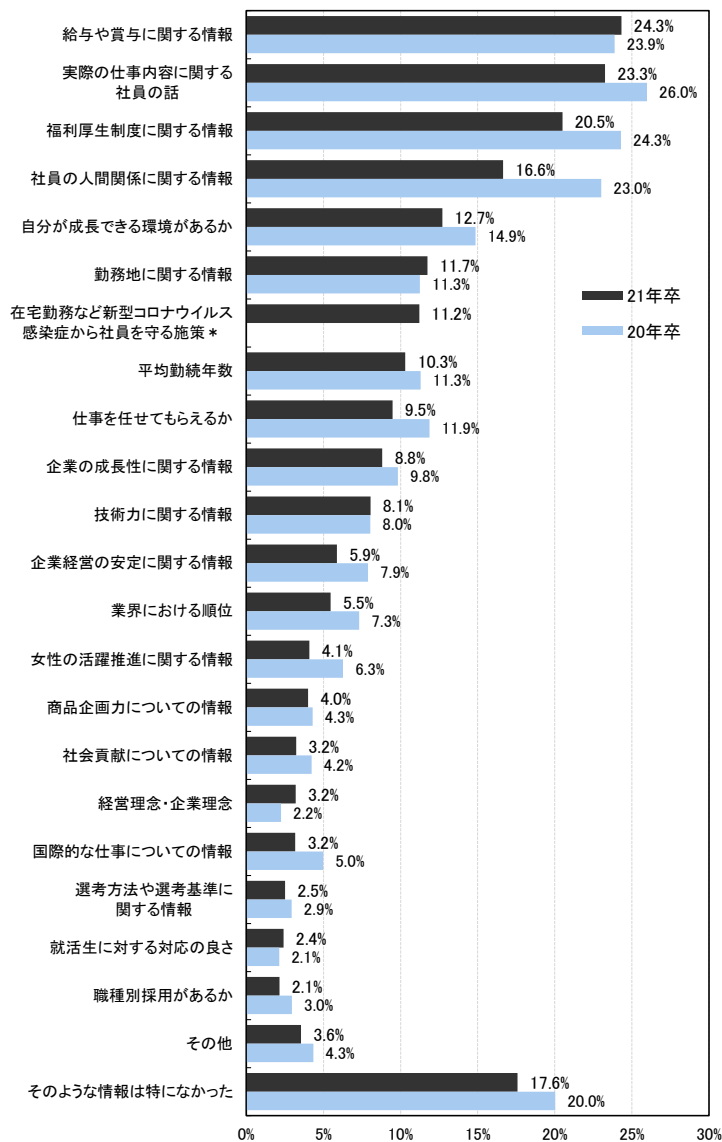
（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=215



◆勤務先満足度が低い新入社員は「実際の仕事内容に関する社員の話」を知っておけばよかったと思う

図25 入社して初めて分かった情報で、就職活動時に知っておけばよかったと思うもの

＜前年比＞（複数回答） n=851 *今年から追加



入社して初めて分かった情報で、就職活動時に知っておけばよかったと思うものについて聞いたところ、最も高い割合だったのは「給与や賞与に関する情報（24.3%、前年比0.4pt増）」だった。この結果には、なぜ就職活動時に知ろうとしなかったのだろうと思ってしまうが、振り返って21年卒の就活生の入社予定決定理由を見ると（「21年卒学生就職モニター調査 7月の活動状況」より）、「給与や賞与が高い」は7番目で、ベスト3までに挙げた人の割合は20.7%にすぎず、「自分が成長できる環境がある（34.1%）」や「福利厚生制度が充実している（33.3%）」などをより重視していた。転職者の転職先決定理由では「給与が良い（28.0%）」は「希望の勤務地」に次いで2番目に高い割合となっており（「転職活動における行動特性調査（2021年）」より）、社会人になり自分の収入で生活してみて「給与の金額の大事さ」を実感する、ということはあるのかもしれない。なお、2番目に高い割合だったのは前年最も高かった「実際の仕事内容に関する社員の話（23.3%、前年比2.7pt減）」、3番目は「福利厚生制度に関する情報（20.5%、前年比3.8pt減）」で、20%を超えたのは以上の3つだった（図25）。

これらの結果について、「現在の勤務先総合満足度」が高い人とそうでない人で差が出るだろうか。もし差が出れば、その項目こそ「入社後がっかりしないために、就職活動中に知っておくべき情報」だと言える。ここでは文理別に「現在の勤務先総合満足度」が最高の「満足度5」である人と「満足度3以下」の人で比較してみた（図26、図27）。

文理とも最も大きな差が出たのは「実際の仕事内容に関する社員の話」だった（文系18.7pt差、理系11.4pt差）。特に文系で差が大きく、勤務先の満足度が3以下の人の37.7%が選択した（満足度5の人では19.0%）。ホームページや人事担当から得られる仕事内容の情報では足りなかったということなので、OB・OG訪問、企業セミナー・WEBセミナーでの社員への質問、さらには面接官への逆質問などで、就活生の側から積極的に「実際の仕事内容」を聞くことが、入社後も満足度が高い企業への就職につながると言えるだろう。

文系で2番目に差が大きかったのは「社員の人間関係に関する情報（17.1pt差）」で、満足度3以下の人が挙げた割合（29.0%）が理系（17.8%）に比べかなり高かった。「実際の仕事内容」に比べると聞くハードルがやや高い内容になるので（面接官に「社員の人間関係は良いですか」とは聞きづらいだろう）、OB・OG訪問の機会や、長期のインターンシップなどで社員とある程度関係ができてから聞く、などするといかもしれない。

理系で2番目に差が大きかったのは「在宅勤務など新型コロナウイルス感染症から社員を守る施策（10.4pt差）」だった。文系ではほとんど差がなかった（1.4pt差）ので、特に理系の勤務先満足度につながる項目と言えるだろう。21年卒の就職活動はコロナ禍の影響が出た最初の年だったので、企業によって情報提供の姿勢に差があったことも考えられる。今後はこういった施策を行っている企業は、積極的に情報提供を行うことが理系採用の成功のカギになる可能性がある。

図26 文系・勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係

（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=396

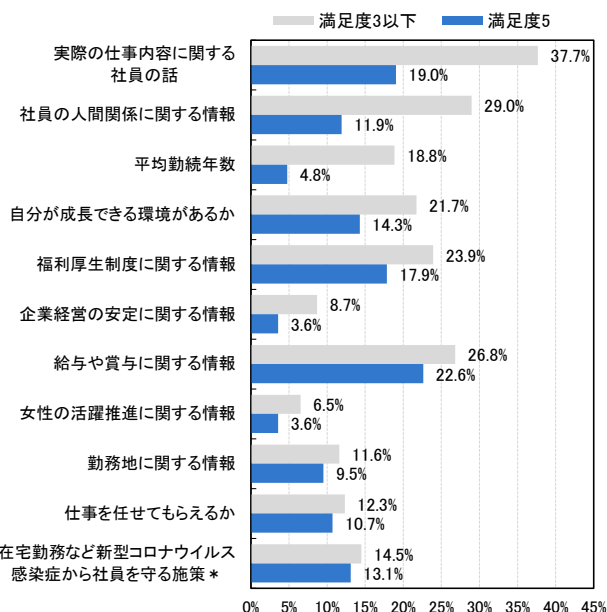
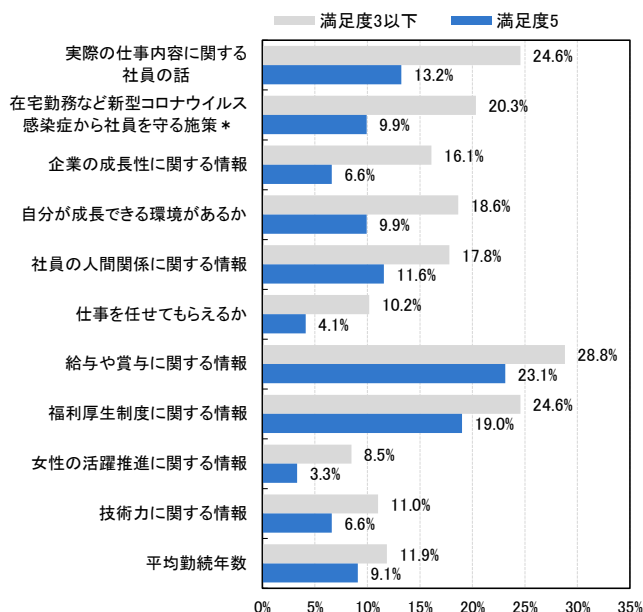


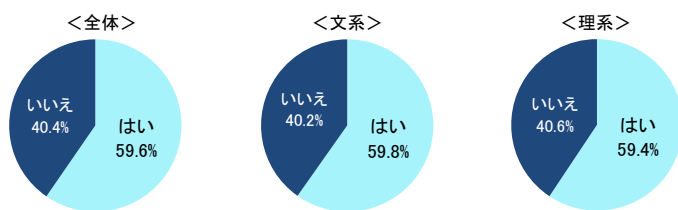
図27 理系・勤務先総合満足度と知っておけばよかった情報の関係

（複数回答） 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=455



◆勤務先満足度が最高の新入社員は、就活時に「入社を決めた理由になる人」に合った割合が高い

図28 就活中に合った現在の勤務先の人で入社を決めた理由のひとつになった人はいたか



就職活動時に入社予定先を決める契機のひとつに「その企業の社員との出会い」がある。そこで「就職活動中に合った現在の勤務先の人で入社を決めた理由のひとつになった人はいたか」と聞いたところ「はい」と回答したのは59.6%だった。文系は59.8%、理系は59.4%で、文理差はほとんどなかった（図28）。

この設問について、勤務先の満足度との関係を分析したところ、満足度が高い人のほうが「はい」と回答した割合が高いことが分かった。文理別では、理系の満足度3以下の人と満足度5の人の差が12.7ptだったのに比べ、文系では35.6ptと大きな差があった。特に文系で、就職活動中に「入社を決める理由になる人」との出会いが勤務先満足度の高さにつながると言える（図29）。

では、「入社を決める理由になる人」とは、その人がどう立場の時に会っていたのだろうか。これについても、満足度3以下の人と満足度5の人で比較してみよう。文理とも最も高い割合だったのは「人事担当者・採用担当者」だったが、満足度3以下と満足度5で大きな差があったのは文系だった（27.3pt差、図30）。また、割合としてはそれほど高くなかったが、文理とも満足度3以下と満足度5で差があったのが「面接官（WEB）」だった（図30・図31）。入社後の勤務先満足度の高さにつながるわけだから「面接官（WEB）」には「選考での見極め」に加えて「勤務先の魅力を体現する」という重要な役割があると言える。

図29 勤務先総合満足度 × 入社を決めた理由のひとつになった人はいたか

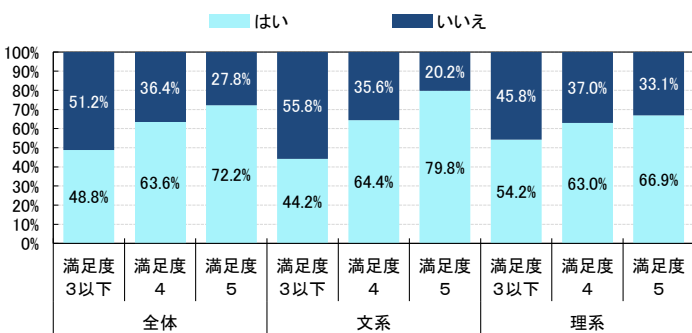


図30 文系・勤務先総合満足度 × 入社を決めた理由になった人の立場

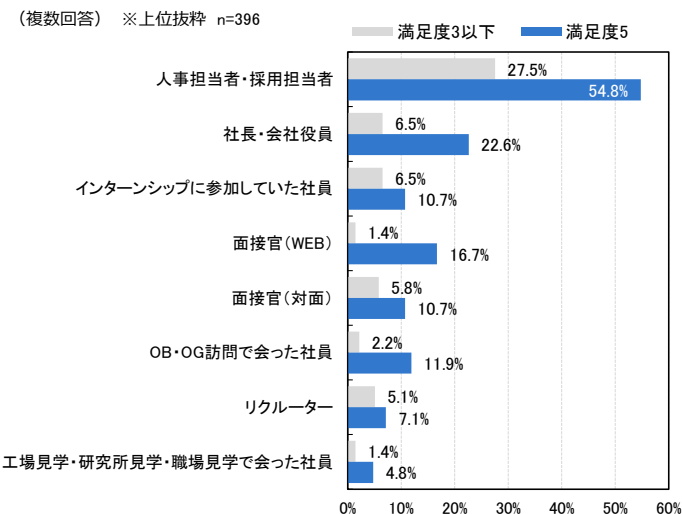
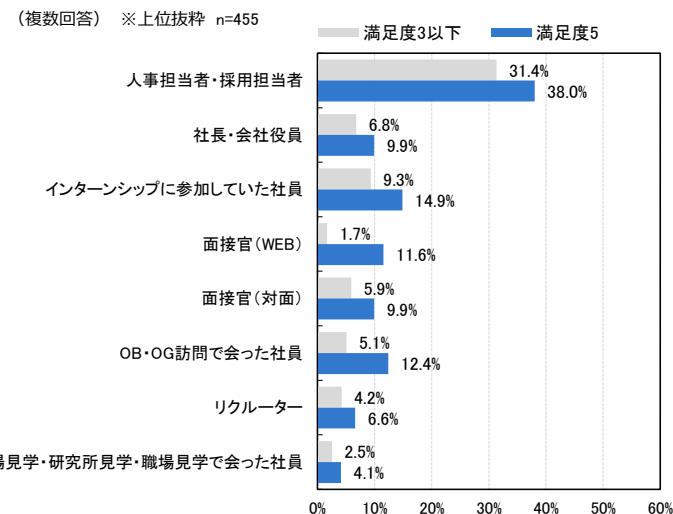
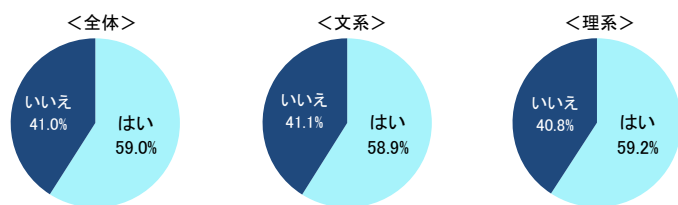


図31 理系・勤務先総合満足度 × 入社を決めた理由になった人の立場



◆勤務先満足度が最高の新入社員は、勤務先に「将来の目標となる人」がより多くいる傾向がある

図32 現在の勤務先に、あなたが「将来この人になりたい」と思う人はいるか



「現在の勤務先に『将来この人になりたい』と思う人はいるか」と聞いたところ、「はい」と回答したのは59.0%だった（図32）。この結果を現在の勤務先満足度別に見ると、満足度3以下と満足度5で文系は43.8pt、理系は34.5ptといずれも大きな差があった（図33）。また「将来この人になりたいと思う人は何人か」を聞いたところ、満足度3以下の平均0.8人に対し、満足度5では平均2.7人と3倍以上の差があった。よって「入社後の満足度が最高の新入社員は勤務先に将来の目標となる人がより多くいる」と言える（図34）。

図33 勤務先総合満足度 × 将来この人になりたいと思う人はいるか

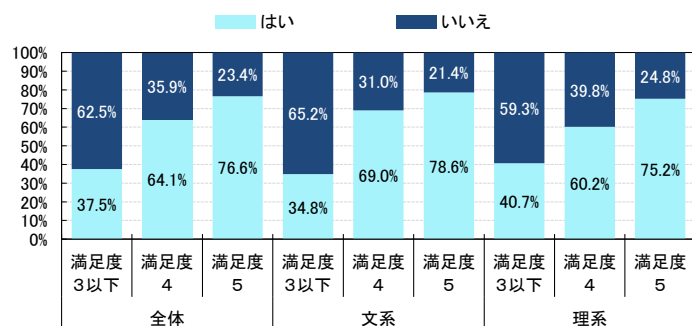
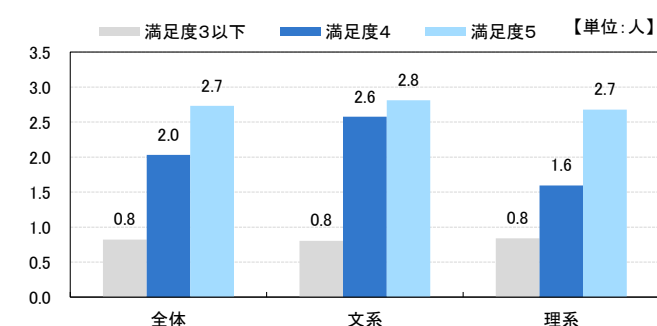


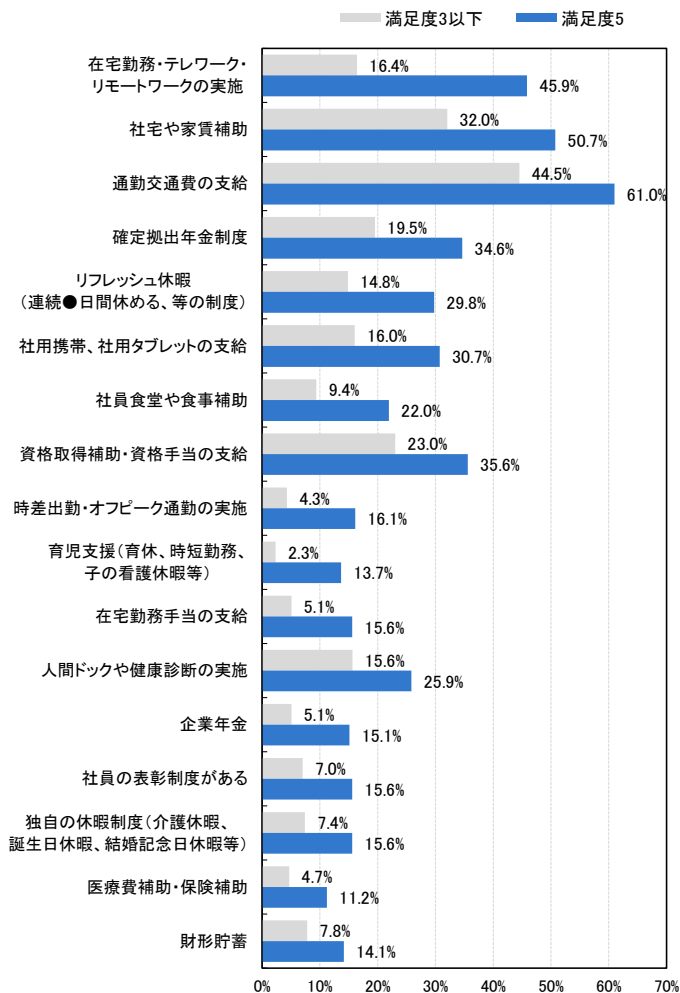
図34 勤務先総合満足度 × 将来この人になりたいと思う人は何人か・平均



◆勤務先満足度に最も大きな影響があった福利厚生は「在宅勤務・テレワーク・リモートワークの実施」

図35 勤務先総合満足度と勤務先において充実していると思う福利厚生の関係

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=851



「現在の勤務先において充実していると思う福利厚生」についても「現在の勤務先総合満足度」が「満足度5」である人と「満足度3以下」の人で比較した。大きな差がついたものほど勤務先満足度に影響がある福利厚生であると言えるだろう。

集計の結果、最も大きな差がついたのは「在宅勤務・テレワーク・リモートワークの実施」だった。満足度5の人の勤務先では45.9%が充実しているのに対し、満足度3以下の人の勤務先では16.4%で、3倍近い差がついた(図35)。また、文理別で見ても、いずれも最も大きな差がついた(図36・図37)。

全体で2番目に大きな差がついたのは「社宅や家賃補助」で、理系でも2番目だったか、文系では5番目だった。文系で2番目に大きな差がついたのは「リフレッシュ休暇」で、3番目は「時差出勤・オフピーク出勤の実施」だった。

図36 文系・勤務先総合満足度 × 充実していると思う福利厚生

(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=396

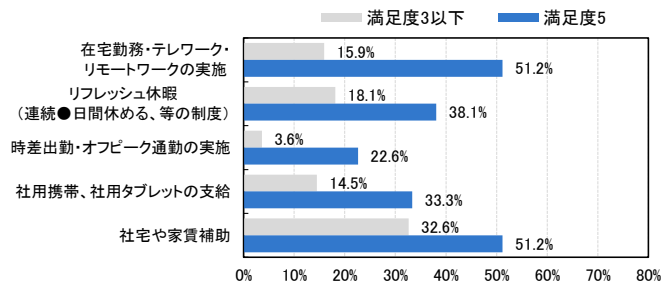
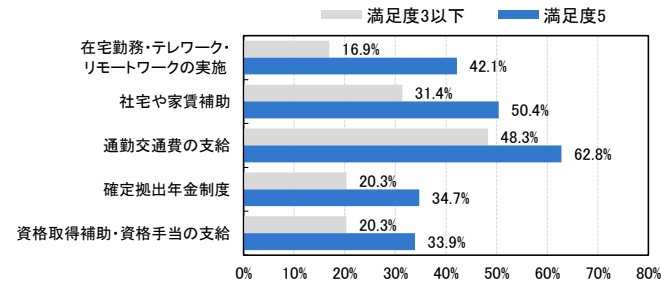


図37 理系・勤務先総合満足度 × 充実していると思う福利厚生

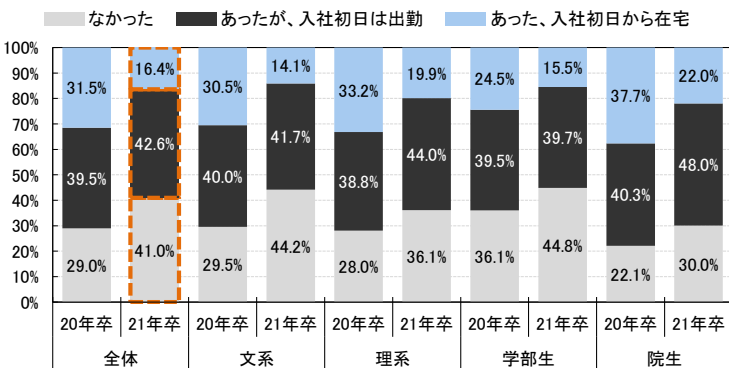
(複数回答) 満足度5と満足度3以下の差が大きい順 ※上位抜粋 n=455



◆入社してから半年間に在宅勤務日があったのは約6割で、前年より1割強減少

図38 入社してからこれまでの間に在宅勤務*の日はあったか、入社初日は在宅勤務だったか

*在宅でのオンライン研修を含む



入社して半年の間に在宅勤務の日があったか聞いたところ、あった割合は59.0%(前年比12.0pt減)で前年よりやや減った。入社初日から在宅勤務だった割合は16.4%(前年比15.1pt減)で、前年から半減した(図38)。勤務先の業種別に在宅勤務の日があった割合を見ると、前年同様「ソフトウェア・通信(89.4%)」で高い割合だった。

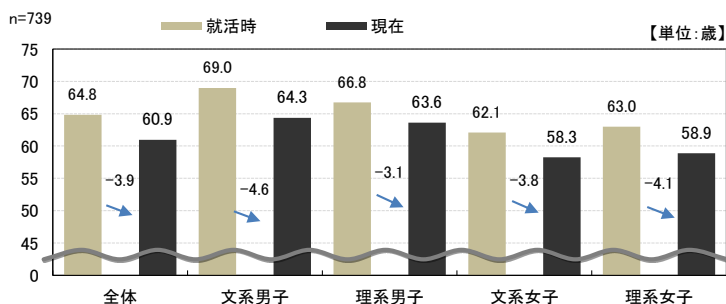
在宅勤務だった日数の平均は29.3日で前年より9.3pt減った。業種別では「ソフトウェア・通信」が74.4日で突出して多くなっている(図39)。

図39 在宅勤務だった日数・平均 ※在宅勤務がなかった人を0日として算出

n=851 単位:日	→ 勤務先業種大分類					*ソフト=ソフトウェア・通信										
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	建設	製造			金融	ソフト*	インフラ	官公庁	サービス		
							全体	文系	理系					全体	文系	理系
21年卒	29.3	28.5	30.1	23.4	37.0	22.1	23.8	28.0	22.2	27.7	74.4	16.5	6.3	16.4	13.9	19.8
20年卒	38.6	38.9	38.3	34.3	42.4	23.1	35.6	36.8	35.3	36.4	80.2	31.8	19.9	26.6	32.0	20.8

◆勤務先満足度が低い新入社員は、長く働き続けたいという意欲が就活時よりも下がる傾向がある

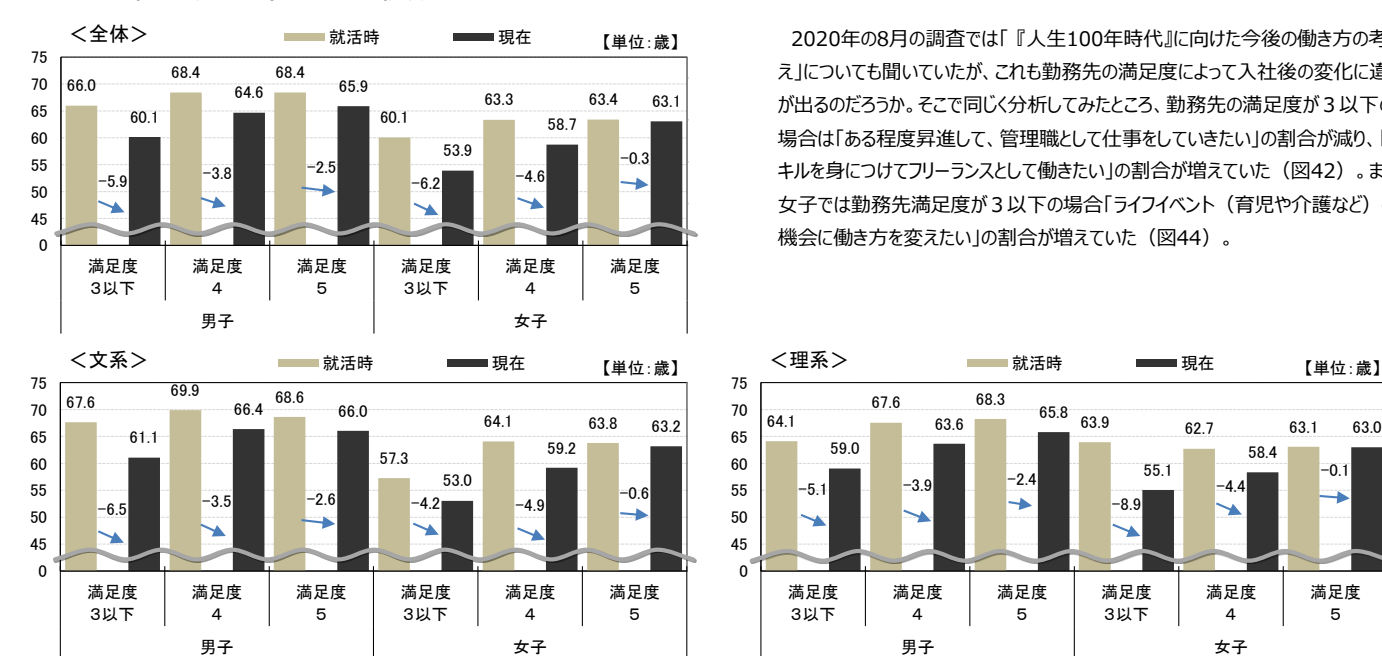
図40 「人生100年時代」が到来すると言われるがあなたは何歳まで働き続けたいか・平均



今回の調査対象が21年卒として就職活動を行った年（2020年）の8月の調査で、「『人生100年時代』が到来すると言われるが、あなたは何歳まで働き続けたいか」という質問を行っていたが、入社後半年たったこの調査の時点で改めて同じ質問を行い、その変化について分析を行った。

全体および文理男女の平均で見ると、いずれも入社後のほうが働き続けたい年齢が低くなり、長く働き続けたいという意欲がやや下がっていた（図40）。そこでこの傾向について、勤務先の満足度との関係を分析したところ、勤務先の満足度が最高（5）の場合は働き続けたい年齢はほとんど変わらないが、勤務先の満足度が3以下の場合は低くなる傾向があることが分かった（図41）。勤務先満足度が低いと長く働き続けたいという意欲が下がる傾向があると言える。

図41 勤務先総合満足度 × 何歳まで働き続けたいか・平均



2020年の8月の調査では「『人生100年時代』に向けた今後の働き方の考え」についても聞いていたが、これも勤務先の満足度によって入社後の変化に違いが出るのだろうか。そこで同じく分析してみたところ、勤務先の満足度が3以下の場合には「ある程度昇進して、管理職として仕事をしていきたい」の割合が減り、「スキルを身につけてフリーランスとして働きたい」の割合が増えていた（図42）。また、女子では勤務先満足度が3以下の場合「ライフイベント（育児や介護など）の機会に働き方を変えたい」の割合が増えていた（図44）。

図42 勤務先総合満足度 × 「人生100年時代」に向けた今後の働き方として、あなたの考えに近いもの（複数回答）

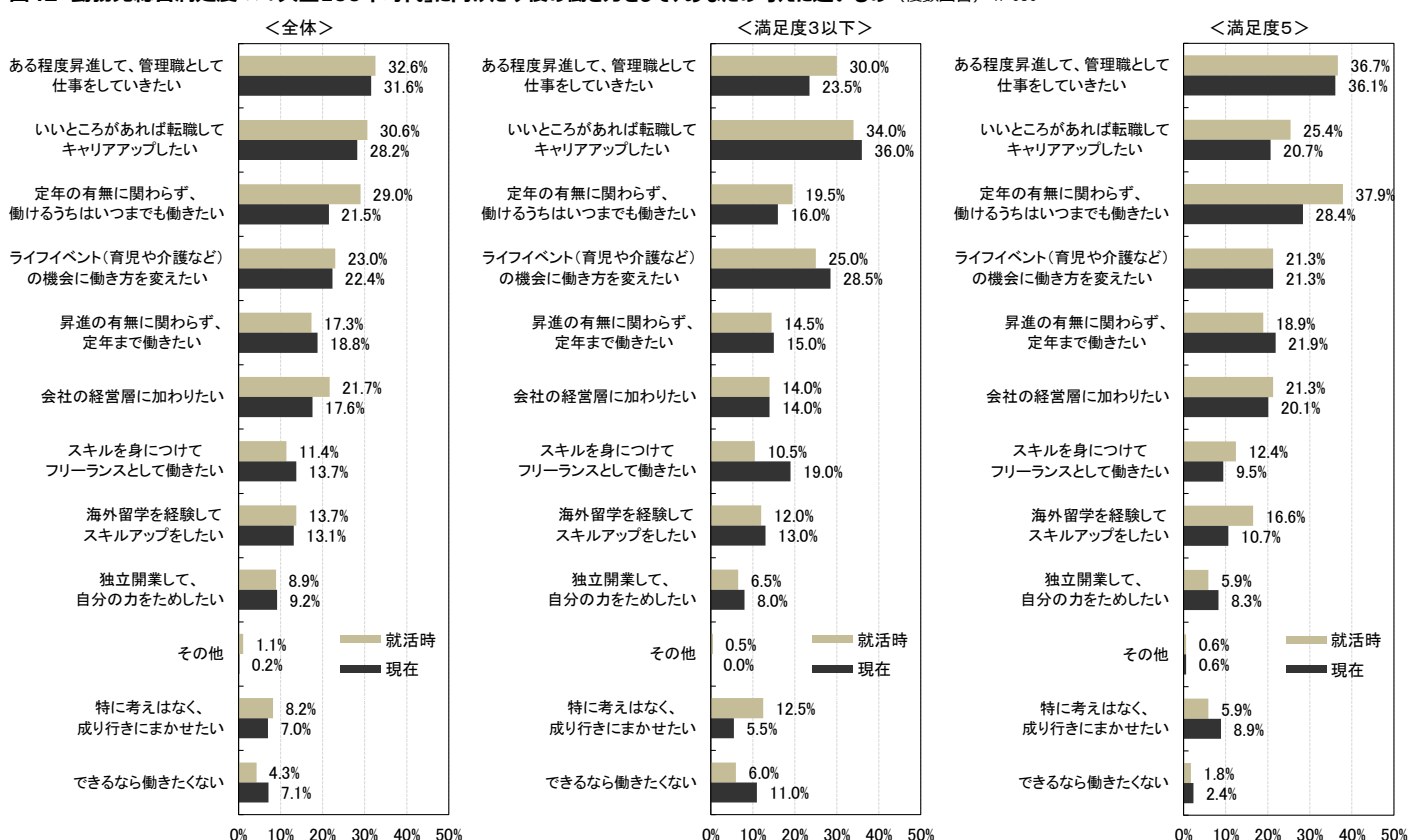


図43 <男子> 勤務先総合満足度 × 「人生100年時代」に向けた今後の働き方として、あなたの考えに近いもの (複数回答) n=300

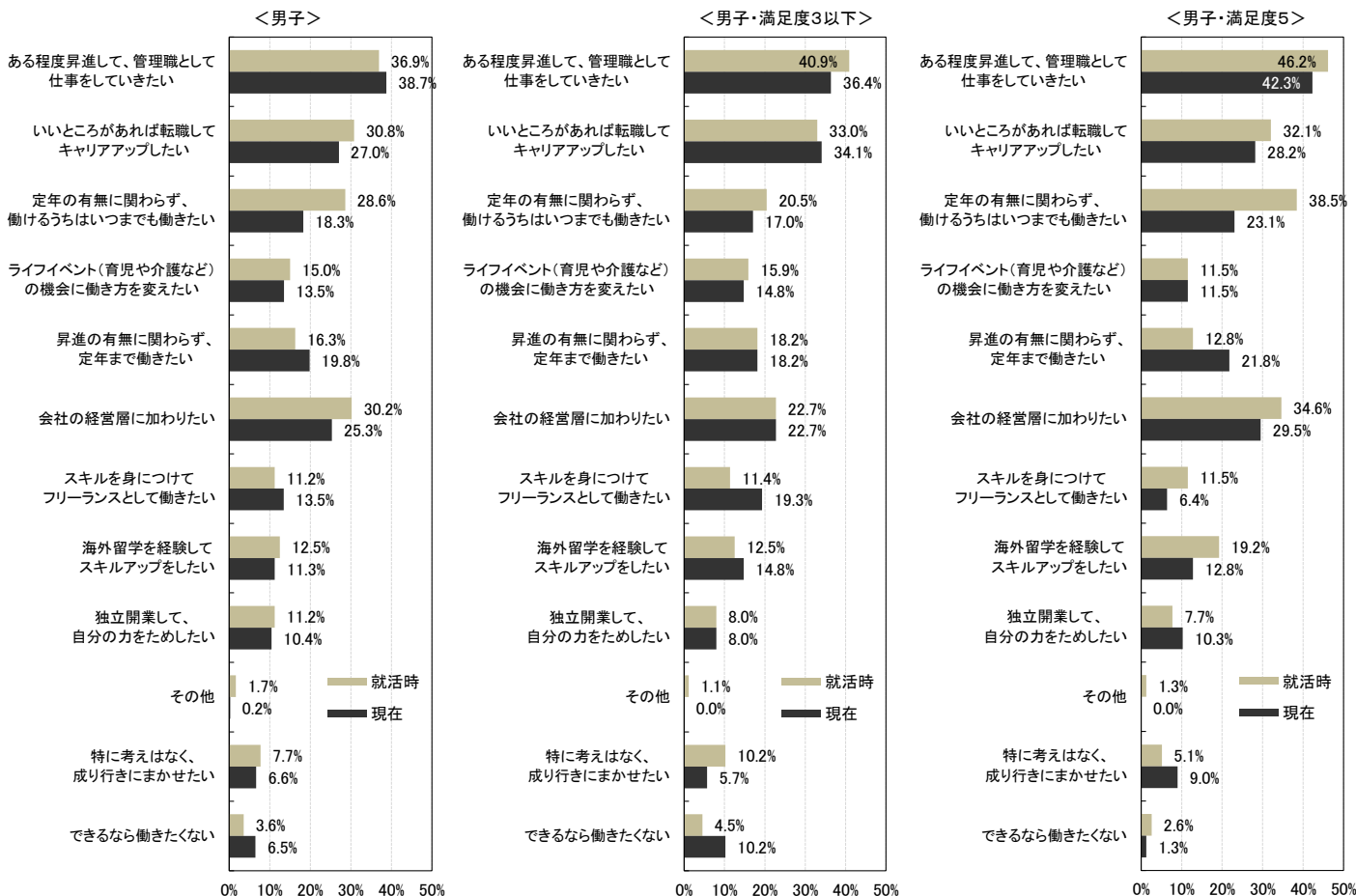
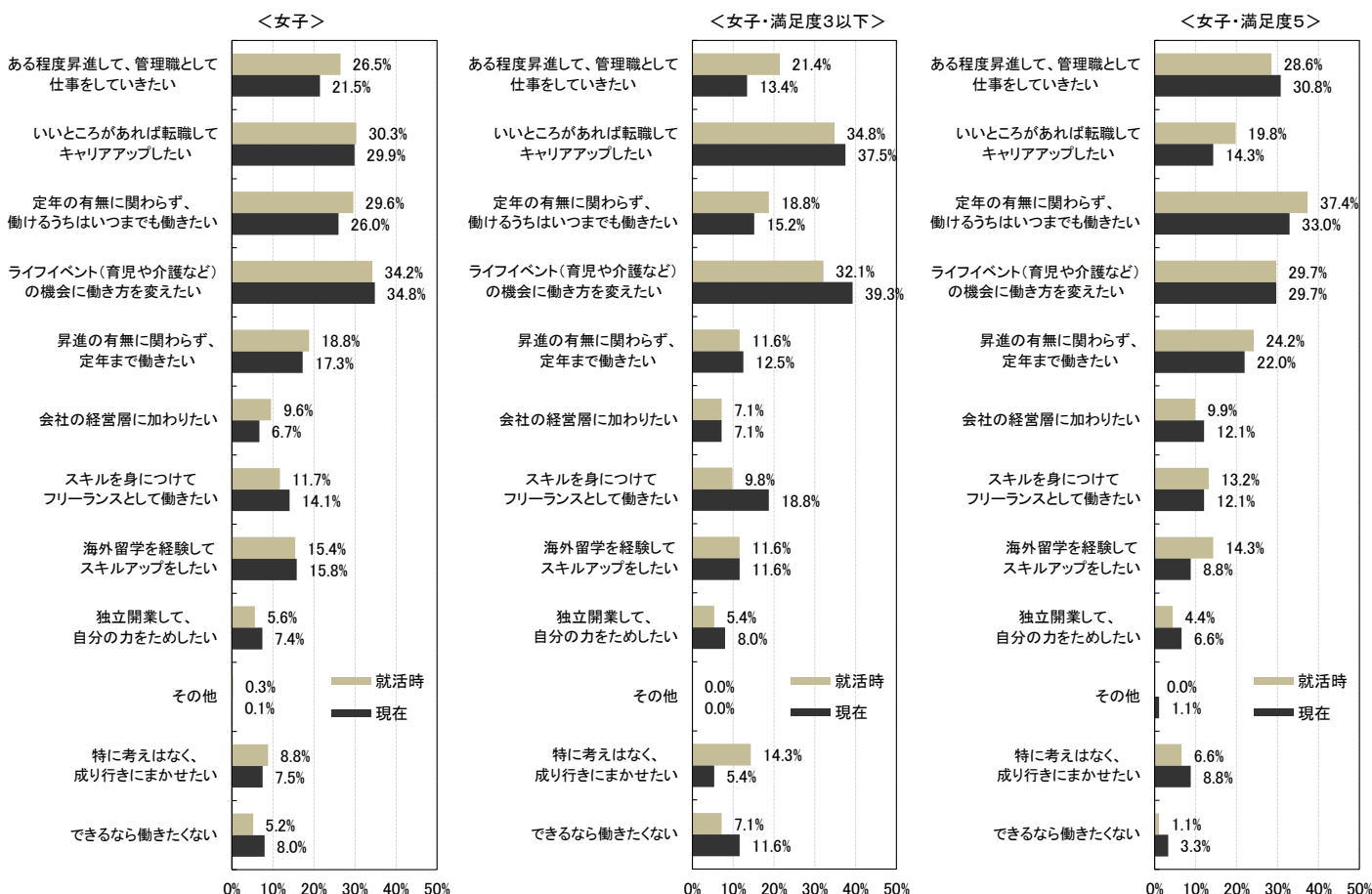
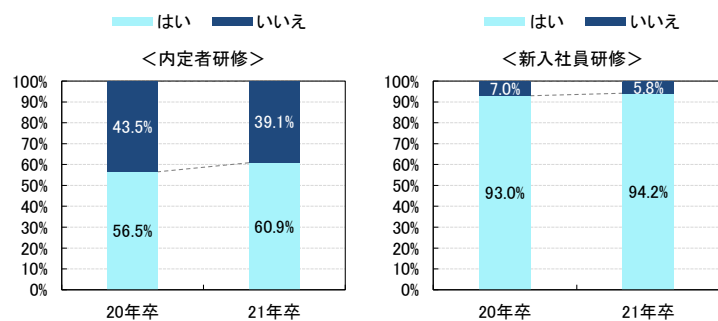


図44 <女子> 勤務先総合満足度 × 「人生100年時代」に向けた今後の働き方として、あなたの考えに近いもの (複数回答) n=386



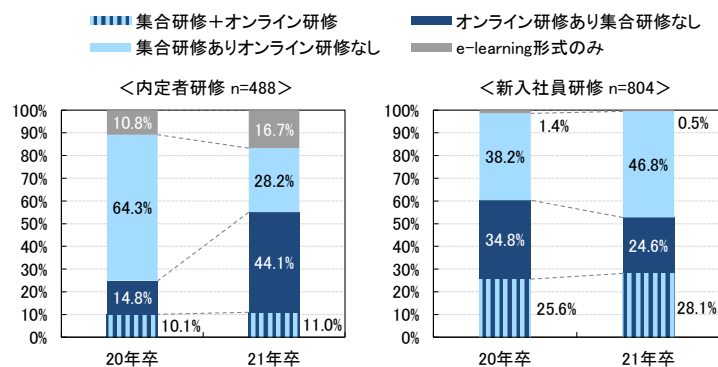
◆新入社員研修がオンラインだったのは研修を受けた人の半数強、内定者研修も55.1%がオンラインに

図45 内定者研修、新入社員研修は受けたか n=826



21年卒として就職活動をした人は、入社を決めて内定者として研修を受けた時期（2020年10月～2021年3月）は新型コロナウイルス感染症流行の第2波から第3波と重なり、新入社員として研修を受けた時期（2021年4月～）は第4波の時期と重なっている。そういった中、内定者研修を受けた割合は60.9%（前年比4.4pt増）、新入社員研修を受けた割合は94.2%（前年比1.2pt増）だった（図45）。

図46 集合研修だったか、オンライン研修だったか



それぞれの研修が、集合研修だったのか、オンライン研修だったのか聞いたところ、内定者研修では「オンライン研修あり・集合研修なし」の割合が44.1%（前年比29.3pt増）で、内定者研修の時期が最初の緊急事態宣言発出（2020年4月7日）より前だった前年（20年卒）より大きく増えた。一方、新入社員研修では「オンライン研修あり・集合研修なし」の割合は24.6%（前年比10.2pt減）と前年より減少し、「集合研修あり・オンライン研修なし」の割合は46.8%（前年比8.6pt増）と増えた（図46）。新入社員研修については感染対策を施した上で集合研修を行う企業が増えつつあるようだ。

研修の満足度について、集合研修、オンライン研修それぞれについて聞いたところ、内定者研修、新入社員研修とも、集合研修のほうがオンライン研修よりやや満足度が高い傾向があった（図47・図48）。受けた研修内容については、内定者研修は「社会人としての心構え（53.2%）」が最も高い割合で、新入社員研修では「ビジネスマナー（79.9%）」が最も高い割合だった（図49）。

＜内定者研修＞	→ 勤務先業種大分類											* ソフト=ソフトウェア・通信				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	建設	製造			金融	ソフト*	インフラ	官公庁	サービス		
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	全体	ソフト*	インフラ	官公庁	全体	文系	理系	
回答数(n)	488	260	228	113	115	28	162	55	107	39	95	26	11	90	61	29
集合研修+オンライン研修	11.0%	12.7%	7.7%	9.7%	6.1%	7.1%	6.2%	7.3%	5.6%	12.8%	14.7%	7.7%	18.2%	14.4%	16.4%	10.3%
オンライン研修あり集合研修なし	44.1%	43.0%	46.1%	46.9%	45.2%	42.9%	51.9%	56.4%	49.5%	28.2%	51.6%	38.5%	18.2%	38.9%	36.1%	44.8%
集合研修ありオンライン研修なし	28.2%	28.9%	27.0%	31.9%	21.7%	39.3%	24.1%	21.8%	25.2%	25.6%	11.6%	34.6%	54.5%	40.0%	41.0%	37.9%
e-learning形式のみ	16.7%	15.4%	19.2%	11.5%	27.0%	10.7%	17.9%	14.5%	19.6%	33.3%	22.1%	19.2%	9.1%	6.7%	6.6%	6.9%

＜新入社員研修＞	→ 勤務先業種大分類											* ソフト=ソフトウェア・通信				
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	建設	製造			金融	ソフト*	インフラ	官公庁	サービス		
	全体	文系	理系	理系学部生	理系院生	全体	文系	理系	全体	ソフト*	インフラ	官公庁	全体	文系	理系	
回答数(n)	804	369	435	219	216	42	297	78	219	60	128	42	46	140	80	60
集合研修+オンライン研修	28.1%	29.4%	26.1%	21.9%	33.3%	19.0%	22.9%	25.6%	21.9%	33.3%	51.6%	26.2%	21.7%	22.9%	22.5%	23.3%
オンライン研修あり集合研修なし	24.6%	22.3%	28.1%	30.1%	25.9%	28.6%	26.6%	19.2%	29.2%	35.0%	28.1%	21.4%	15.2%	25.0%	20.0%	31.7%
集合研修ありオンライン研修なし	46.8%	47.9%	45.1%	47.5%	39.8%	52.4%	49.5%	55.1%	47.5%	31.7%	20.3%	52.4%	60.9%	52.1%	57.5%	45.0%
e-learning形式のみ	0.5%	0.4%	0.8%	0.5%	0.9%	0.0%	1.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%

図47 内定者研修の成果の満足度

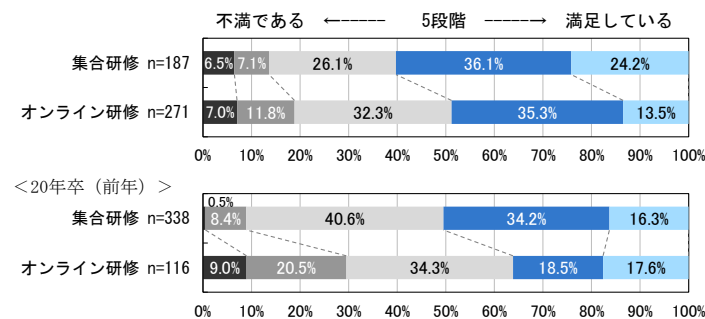


図48 新入社員研修の成果の満足度

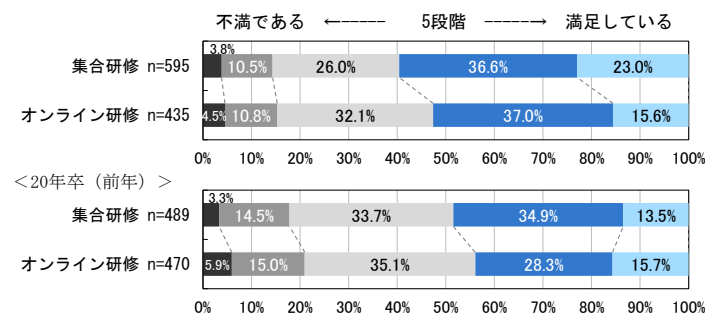
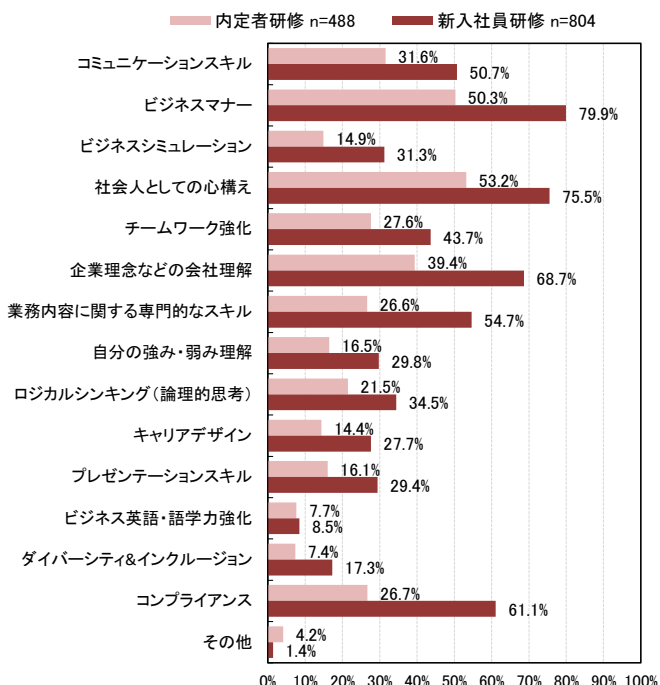


図49 受けた研修内容（複数回答）



◆あなたの「新入社員生活」（勤務先に入社してから今まで）を漢字一文字で表すと

21年卒 BEST10			文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
ランク	漢字	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率	ランク	得票率
1	楽	6.29%	3	6.33%	3	5.63%	4	4.37%	1	8.73%
2	忙	5.83%	5	3.16%	5	4.23%	2	5.95%	1	8.73%
3	学	5.14%	4	3.80%	1	7.98%	5	3.97%	3	4.76%
3	苦	5.14%	1	8.86%	9	1.41%	1	7.14%	4	3.97%
5	変	4.11%	2	6.96%	2	6.10%	7	3.17%	10	1.59%
6	疲	4.00%	8	2.53%	4	4.69%	3	5.16%	5	3.17%
7	辛	2.40%	5	3.16%	31	0.47%	6	3.57%	9	2.38%
8	無	2.29%	11	1.90%	9	1.41%	8	2.78%	7	2.78%
9	新	2.17%	-	0.00%	6	3.76%	16	1.19%	5	3.17%
10	早	1.83%	11	1.90%	31	0.47%	10	1.98%	7	2.78%
10	難	1.83%	8	2.53%	7	1.88%	9	2.38%	20	0.79%

入社して半年の社会人に、これまでの「新入社員としての生活」を漢字一文字で表してもらったところ、1位は「楽」だった。「就職活動」を表す漢字一文字の1位は「苦」だったので、まさに「苦」あれば「楽」あり、である。ただ、選んだ理由は「楽（らく）」より「楽しい（たのしい）」のほうが多く、withコロナの状況でも新入社員生活を楽しんでいる人が多いようだ。文系は男女とも「苦」が1位で、「楽」が1位（「忙」と同点）の理系女子とは明暗が分かれた。理系男子は「学」が1位で、理系女子でも3位となり、理系は大学時代に「学んだ」上に新入社員になっても「学び」続ける生活のようだ。また、男子は文理とも「変」が2位で、女子より学生時代からの変化を感じる人が多かった。

○文理男女別ランキング

文系男子		
ランク	漢字	得票率
1	苦	8.86%
2	変	6.96%
3	楽	6.33%
4	学	3.80%
5	忙	3.16%
5	辛	3.16%
5	耐	3.16%
8	疲	2.53%
8	難	2.53%
8	挑	2.53%

理系男子		
ランク	漢字	得票率
1	学	7.98%
2	変	6.10%
3	楽	5.63%
4	疲	4.69%
5	忙	4.23%
6	新	3.76%
7	難	1.88%
7	成	1.88%
9	(8つ)	1.41%
苦、無、耐、動 波、暇、進、怠		

文系女子		
ランク	漢字	得票率
1	苦	7.14%
2	忙	5.95%
3	疲	5.16%
4	楽	4.37%
5	学	3.97%
6	辛	3.57%
7	変	3.17%
8	無	2.78%
9	難	2.38%
10	(5つ)	1.98%
早、成、耐、速、眠		

理系女子		
ランク	漢字	得票率
1	楽	8.73%
1	忙	8.73%
3	学	4.76%
4	苦	3.97%
5	疲	3.17%
5	新	3.17%
7	無	2.78%
7	早	2.78%
9	辛	2.38%
10	(4つ)	1.59%
変、成、動、初		

<就活時>あなたの「就職活動」を漢字一文字で表すと(2020年8月調査)

21年卒(就活時) BEST10		
ランク	漢字	得票率
1	苦	4.59%
2	楽	3.98%
3	耐	3.12%
3	動	3.12%
5	難	2.45%
6	辛	2.26%
7	迷	2.08%
8	考	1.96%
8	悩	1.96%
10	運	1.90%

文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
ランク	漢字	ランク	漢字	ランク	漢字	ランク	漢字
1	苦	1	楽	1	苦	1	苦
1	楽	2	苦	2	耐	2	楽
3	耐	2	動	3	楽	3	動
4	難	4	難	3	動	4	耐
5	運	5	早	5	辛	5	難
6	進	6	運	6	迷	6	悩
6	勝	6	無	7	考	6	挑
8	辛	6	成	8	悩	8	辛
8	挑	9	考	9	運	8	進
10	動	9	挑	10	無	8	己
10	迷			10	疲	8	笑
10	悩			10	変		

○選んだ漢字とその理由

勤務先の業種	文理男女	理由
1位 楽		
陸運・海運・物流	文系男子	日々辛いこともありながらも楽しい日々を過ごしているから。
印刷・事務機器・日用品	理系男子	大学時代より圧倒的に楽な日々を送っているから。
食品・農林・水産	理系男子	思っていたよりもワクワクすることで溢れている。
ソフトウェア・ネット関連	文系女子	よりよい職場環境にいきたい気持ちはあるが、それでも自分のお金を稼げることや一人暮らしが楽しいため。
薬品・化粧品	理系女子	修士の研究室時代よりも楽しいし、定時で帰宅できることやお給料をちゃんと貰える。
官公庁・公社・団体	理系女子	初めてやることや知ることばかりで楽しい。また、これまでの大学院生活と比較して、心に余裕ができたことで楽で、何事も進んで行えるため。
2位 忙		
銀行・証券	文系男子	忙し過ぎて1週間があつという間に過ぎる。
電力・ガス・エネルギー	理系男子	初めての仕事、初めての場所、初めて会う人覚えることなどが多く毎日忙しいから。
ホテル・旅行	文系女子	休みが多い時期もあったが、ほとんど休みがなく、忙しかったから。
医療・調剤薬局	理系女子	残業時間が多い。業務量が多い。とにかく忙しい店舗であるから。
食品・農林・水産	理系女子	コロナの対応で、通常業務より忙しかったため。
3位 学		
ソフトウェア・ネット関連	文系男子	初めての社会人なうえ、大学の専攻とは異なる分野への就職だったので、学びの連続となっている。
建設・設備工事	理系男子	大学までは、課題条件に沿って設計を行っていたが、対人となったためコミュニケーションの身につけ方、デザインの磨き方、新商品の提案、費用計算など、勉強して覚えて、お客さんに伝えることをしなければいけないので、毎日勉強しています。
通信	理系男子	大学での専攻に近いので自信があつたが思っていたより新しく学ぶことばかりだった。
鉄道・航空	理系男子	専門知識や技術を身につけるのが1年目の仕事であると考えから。
電子・電気機器	理系男子	常に学び、自身を高める努力がより必要性を増したから。
専門店	文系女子	仕事内容や対人関係、プライベートとの両立など、日々学ぶことばかりだから。「社会人1年目」の間に吸収できることは全て取り込んでおきたい。
食品・農林・水産	理系女子	学ぶことが多く、まだまだ学ばなければならないことが多くあるため。
3位 苦		
ソフトウェア・ネット関連	文系男子	社会人生活が向いてないと度々感じるから。
官公庁・公社・団体	文系女子	一年目はなにかと周りに気をつかうことが多く、1番苦労すると思うから。
百貨店・スーパー・コンビニ	文系女子	福利厚生や業務内容、研修制度など求人情報に書いていたよりも納得いかないことが多くある。
ソフトウェア・ネット関連	理系女子	仕事ばかりで、自分の時間を作るのが大変。
機械・プラント	理系女子	稼ぐことは大変だと改めて感じたため。楽しいことよりも苦しいことの方が多い。
5位 変		
ソフトウェア・ネット関連	文系男子	学生から社会人になったという立場に大きな変化があつて、その上で今後のキャリアや人生について真剣に考え始めるという、思考にも変化があつたため。
官公庁・公社・団体	文系男子	新しい仕事が次から次へと入り、目まぐるしく環境が「変」わっているから。
電子・電気機器	理系男子	コロナ禍により大きく社会が変化し、未だ完全な収束はしていない状況で、自分自身の周りも変わったと感じたため。また、自分が他の人と違った、変わった人だと改めて感じたため。
通信	理系男子	自分の生活が変わっただけでなく、勉強への取り組み、自分自身への理解など様々なことが変わったため。
薬品・化粧品	文系女子	環境が大きく変わった、今まで全く関わったことのない業務内容のため大変。
官公庁・公社・団体	文系女子	生活の仕方が実家から一人暮らしに変わり、生活をしていく中で模索して過ごしているから変化の多い生活をしているため。
6位 疲		
不動産	文系女子	土日でも仕事のことを考えてしまう癖があり、精神的に疲れていると感じているから。
給食・フードサービス	理系女子	上司に気を使ったり、たくさん歩いたり仕事が疲れるから。
薬品・化粧品	理系女子	気疲れ、通勤の疲れ、仕事への疲れがあるから。
7位 辛		
銀行・証券	文系男子	旅行にも行けず、ストレスが発散できず辛い。また、給料もなにかと引かれていくので手取りは少ないので辛い。
通信	文系女子	営業の仕事や職場の雰囲気は自分には合っていないと感じ、居心地の悪さを感じる。また、現在自分のスキルとしても何かができるようになった実感はなく、足を引っ張る存在であると感じるため。
ソフトウェア・ネット関連	理系女子	研修などの内容が縮小して行われたことが現場に伝えられておらず、前評判と違っていたためか、上司の評価が辛口であり、人間関係をうまく構築できていないと感じるため。

勤務先の業種	文理男女	理由
8位 無		
機械・プラント	理系男子	日々淡々と過ごしているから。学生時代ほど充実していると感じないから。日常があまり楽しいと感じないから。仕事が自分に合っている気がしないから。今後やっていけるか不安だから。
官公庁・公社・団体	文系女子	可もなく不可もなくという感じだから。
人材サービス(派遣・紹介)	理系女子	嫌な所も無いけど、成長できたともまだ思えないから。
9位 新		
精密・医療機器	理系男子	これまでの環境とは全く違う新しい環境だから。
ソフトウェア・ネット関連	文系女子	新しい勤務形態、新しい経験、新しい仲間、新しい環境、コロナ禍の新しい生活様式の中でガラッと生活が変わった半年だった。
薬品・化粧品	理系女子	出身外の勤務地、一人暮らし、社会人としての仕事、その他諸々全てが初めてのことだから。
10位 早		
建設・設備工事	文系男子	あっという間に時間が流れたから。
生保・損保	文系女子	半年あっという間だったから。
官公庁・公社・団体	理系女子	たくさん覚えることがあり、必死にこなしていたらあっという間に半年が経っていて早いと感じたから。
10位 難		
電子・電気機器	文系男子	社会人としての人間関係、仕事内容など難しいことをたくさん今も経験しているため。
食品・農林・水産	理系男子	社会人として何をどこまで気をつければいいのか、自分がどこまでやっていいのか判断するのが難しかったから。
銀行・証券	文系女子	社会人として生きていくのも、仕事を覚えるのも新しい生活に慣れるのも全てが難しかったため。

少数回答 ※1票のみの回答で、ユニークなものを抜粋

漢字	勤務先の業種	文理男女	理由
芽	介護・福祉サービス	文系女子	就活までが土壌づくり、就職先が種だとすると、今やっと芽が出てきた感じがするから。
汗	自動車・輸送用機器	文系女子	夏は工場で汗をかいた。
気	電力・ガス・エネルギー	理系女子	気を張って、気を遣っているから。
吸	ソフトウェア・ネット関連	理系女子	これまで学んだ分野と全く関係ない業界に進んでひたすら、勉強。
見	陸運・海運・物流	文系女子	いい意味でも悪い意味でも常に周りから評価されているから。
彩	通信	文系男子	色でいうとたくさんの色があるように、さまざまな経験をしてきたから。
砕	官公庁・公社・団体	理系女子	自分は勉強ができてプライドが高かったが、仕事では評価されず、プライドが砕けた。
索	専門商社	理系男子	色々なことを模索したため。
思	放送・新聞・出版	文系女子	思っていたより良かったことも悪かったこともある。思考力が必要とされる。仕事や会社への思いが必要とされる。
時	食品・農林・水産	理系男子	時間をうまく活用しなくては充実した生活を送れないから。
失	自動車・輸送用機器	文系男子	色々な失敗、失ったものがあると感じたから。
弱	人材サービス(派遣・紹介)	文系女子	自分の弱さばかり目につくようになったり、気持ちも弱くなってばかり。
晴	ソフトウェア・ネット関連	文系女子	日々天気のように状況が変わってきたものの、ここ最近は晴れのように健やかな気持ちで過ごしているから。
折	官公庁・公社・団体	文系男子	心が折れたから。
惰	自動車・輸送用機器	文系男子	特に難しいこともなく、自分の能力を発揮していない。常に片手間で何となく業務をこなしている。
体	ホテル・旅行	文系女子	基本18時間勤務などの勤務体制であり、かつ少人数で成立している仕事のため体が資本だと感じているため。
超	ソフトウェア・ネット関連	理系男子	仕事の環境・雰囲気・量など色々な意味で想像を超えてきたため。
追	建設・設備工事	理系女子	新たな知識や現場での対応等、覚えなければならないことに追われ、先輩方を追いつける日々が続いているので。
底	ソフトウェア・ネット関連	文系女子	内定者時点でこれ以上しんどいことはないだろうと考えて内定者研修を乗り切ったら、それを遥かに下回る環境に置かれているから。
馬	生保・損保	文系男子	馬車馬。
半	電力・ガス・エネルギー	理系男子	半人前、道半ばだと感じるから。
閉	印刷・事務機器・日用品	理系女子	閉じこもった環境での業務だから。
忘	ソフトウェア・ネット関連	理系男子	研修とか、いろいろ忙しかったけど、何があったかと言われれば、ほとんど覚えていない。
悠	薬品・化粧品	理系女子	学生の頃と比べて悠々自適な生き方ができていると感じるから。
養	ソフトウェア・ネット関連	理系男子	ほどほどに休養とつつ学習もし成長してきたから。
裏	鉄道・航空	理系男子	裏方の仕事をしているから。仕事だけではないということ。仕事を表とするならば、裏の面(人間関係など)もあるということ。
両	建設・設備工事	理系男子	プライベートと仕事どちらも全力を尽くしているから。
察	生保・損保	理系男子	この半年間は業務内容はほとんど研修でした。社員寮に入り、同期と切磋琢磨したことがこれからの社会人生活に生きてくると感じているので、察にしました。
話	機械・プラント	文系女子	話すことや伝えることの大切さを知ったから。